

**ACCUVECTOR**  
**PRO** LAUNCH SYSTEM

**V**  
**SERIES**

**ユーザーガイド**

v 2.3

VFit、VTeach、VRRange

**最初にお読み下さい**

**ACCUSPORT**  
KNOW THE GAME

## 目次

### はじめに

AccuVector Pro Launch System コンポーネント .....	4
コンピュータ要件 (Windows XP) .....	5
コンピュータ要件 (Windows Vista/Windows 7) .....	6
ビデオカメラ仕様 .....	6
安全のしおり .....	7
お手入れと取り扱い .....	7
AccuSport AccuVector Pro イラスト .....	8
ソフトウェアをインストールする前に – Windows XP .....	9
ソフトウェアをインストールする前に – Windows Vista、7 .....	10
ソフトウェアのインストール (Windows XP、Vista、7) .....	13
ハードウェアの設定 (Windows XP) .....	17
ハードウェアの設定 (Windows Vista、7) .....	20

### ご使用前に

バッテリーを充電する .....	26
ボールのマーキング .....	26
ソフトウェアを起動する .....	27
データベースをインポートする .....	27

### ソフトウェアの機能

ユーザーインターフェースの説明 .....	28
ローンチダイヤル .....	29
ファイル .....	30
エクセルに出力 .....	30
テキストファイルに出力 .....	30
レポート .....	30
企業情報の更新 .....	30
AccuVectorX データをインポート .....	31
設定 .....	31
初期設定項目 .....	31
アキュベクタの選択 .....	32
アドバンスモード .....	32
キャリブプレート .....	33
弾道観測 .....	33
弾道曲線 .....	33
ヘルプ .....	33
ユーザーガイド .....	33
バージョン情報 .....	33
プレーヤのデータベースを管理する .....	34
プレーヤを選択する .....	34
項目を選択する .....	35
カテゴリの選択 .....	35

### セットアップ

キャリブレーション .....	36
-----------------	----

ボールのポジショニング .....	36
AccuVector Pro、ノート型 PC、ビデオカメラのポジショニング .....	37
第 1 ショットを打つ .....	38
<b>VFit ソフトウェア</b>	
測定データ履歴 .....	39
測定データ履歴を削除する .....	39
平均値のみを表示 .....	39
表を展開する .....	39
分析 .....	39
画像ウィンドウ .....	40
ショット分析 .....	40
ショット弾道 .....	41
弾道観測 .....	41
クラブのインパクト .....	41
<b>VTeach ソフトウェア</b>	
ビデオカメラの選択 .....	42
ビデオ撮影 .....	43
ライブビデオ .....	43
ビデオ撮影 .....	43
ビデオのみ .....	43
スイングビデオ画像 .....	44
スイングビデオナビゲーション .....	44
画面上の注釈 .....	44
測定データ履歴 .....	45
クラブのインパクト .....	45
弾道 .....	45
画像ウィンドウ .....	46
<b>VRange ソフトウェア</b> .....	47
拡張可能ウィンドウ .....	48
ビューメニューオプション .....	49
測定データ履歴 .....	50
画像 .....	51
分析 .....	51
トップビュー .....	52
サイドビュー .....	52
<b>よくある質問</b>	
一般的な質問 .....	53
AccuVector Pro のご利用 .....	55
トラブルシューティング .....	56
エラーメッセージ .....	59
<b>付録</b>	
付録 A: フルレポート .....	62
付録 B: 平均値レポート .....	64

## はじめに

AccuSport の AccuVector Pro をお買い求めいただきありがとうございます。本製品は、現在市販されている中でも最新鋭のゴルフ弾道計測システムです。

本機を故障無く、確実に操作する為に、AccuVector Pro の設定および使用前に本ユーザーガイドをよくお読み下さい。本ユーザーガイドに記載された操作方法以外で操作を行なったことに起因する不具合に関する保証は、無効となりますのでご注意下さい。

本機のご使用および不具合に関する問合せ窓口。

株式会社 GPRO カスタマーサポート

営業時間：月曜日～金曜日（土日祝日を除く） 午前9時～午後4時

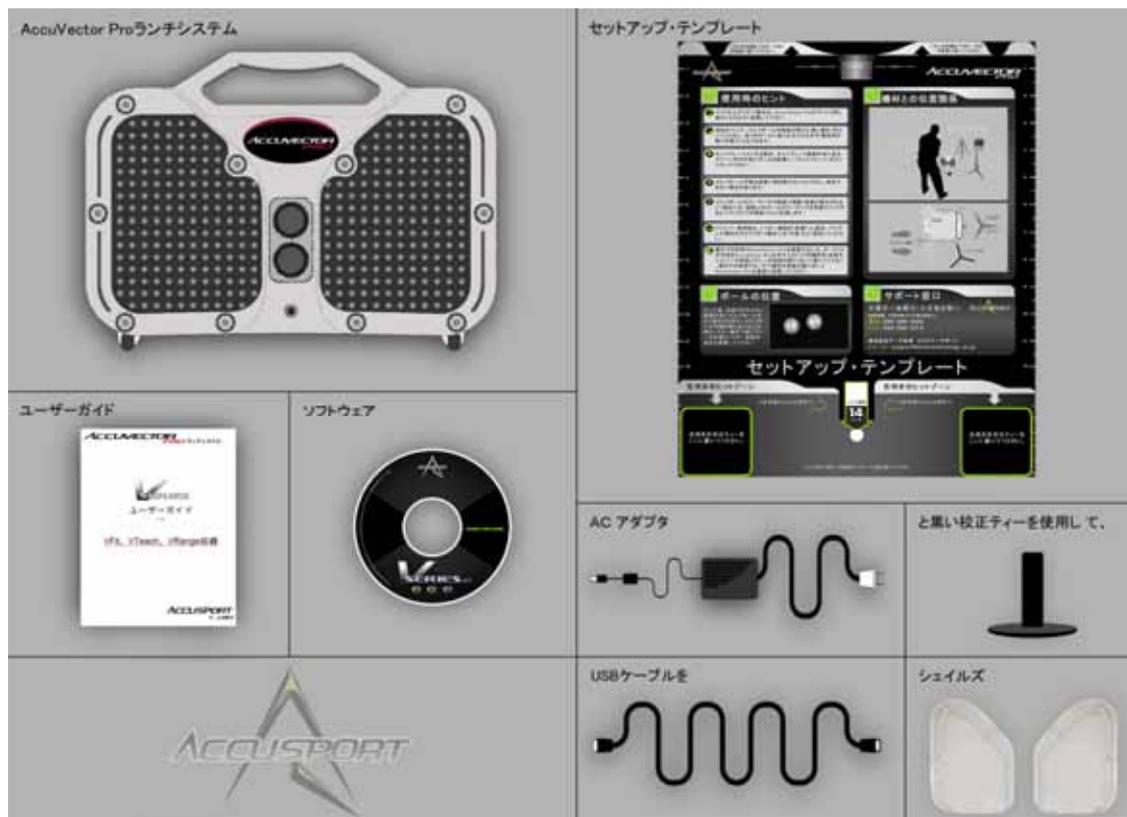
TEL：06-6428-6777

FAX：06-6428-0071

E-mail：[golf@gpronet.com](mailto:golf@gpronet.com)

製品の最新情報は、ウェブサイト [www.xswinggolf.com](http://www.xswinggolf.com) をご覧下さい。

## AccuVector Pro Launch System 構成一覧



注： VFit と VTeach は、AccuVector Pro のご注文品に同梱されている標準ソフトウェアです。VRange ソフトウェアは別売ソフトウェアです。  
購入に関しては E メール [golf@gpronet.com](mailto:golf@gpronet.com) までお問い合わせ下さい。

## コンピュータ要件

VSeries ソフトウェアは、以下の要件を満たすパーソナルコンピュータで作動します。

### OS : Windows XP Service Pack 3 (32 ビット OS のみ対応)

- **CPU:**
  - Pentium 4 : 最低要件- 1.7 GHz 以上のプロセッサ
  - Core2 duo : 最低要件- 1.83 GHz 以上のプロセッサ
  - iSeries – i3, i5, i7 : 最低要件- 2.0 GHz 以上のプロセッサ
- **メモリ:** 最低要件 2 GB  
推奨要件 3 GB \*グラフィックメモリ共有の場合は 2 GB 以上必須
- **ハードディスク:**最低要件 80 GB  
推奨要件 250GB 以上  
アプリケーション用 300 MB のほかに、プレーヤの記録や動画用に容量追加が必要
- **ドライブ:** CD/DVD
- **ビデオカード:** 最低解像度 24 ビットカラー1024 x 768  
Microsoft Direct x 9.0 以上 (128Mb オンボードメモリ)  
VGA/DVI ポート (デュアルモニター対応には 2 ポート必要)
- **USB 端子:** USB 2.0
- **オプションビデオカメラ入出力ポート:** ビデオカメラ接続用 IEEE 1394A 端子

## OS: Windows Vista または Windows 7

- **CPU:**  
Pentium 4 (32 ビット OS のみ対応) : 最低要件- 1.7 GHz 以上プロセッサ  
Core2 duo (32 ビット OS のみ対応) : 最低要件- 2.0 GHz 以上プロセッサ  
iSeries i3, i5, i7 (32/64 ビット OS 対応) : 最低要件- **2.0 GHz** 以上プロセッサ
- **メモリ:** 最低要件 3 GB.  
推奨要件 4 GB. \*グラフィックメモリ共有の場合は 4GB 以上必須
- **ハードディスク:**最低要件 80 GB  
推奨要件 250GB 以上  
アプリケーション用 300 MB のほかに、プレーヤの記録や動画用に容量追加が必要
- **ドライブ:** CD/DVD ドライブ
- **ビデオカード:** 最低解像度 24 ビットカラー1024 x 768  
Microsoft Direct x 9.0 以上 (128Mb オンボードメモリ)  
VGA/DVI ポート (デュアルモニター対応には 2 ポート必要)
- **USB 端子:** USB 2.0
- **オプションビデオカメラ入出力ポート:** ビデオカメラ接続用 IEEE 1394A 端子

### ビデオカメラ仕様:

**重要:** ハードディスクカメラおよびハイビジョンカメラには対応していません。  
IEEE1394A 接続 および Mini-DV (テープ) ライブストリーミングカメラのみ 推奨。

- Microsoft Windows (Windows Driver Model (WDM)) 準拠
- 記録方式: デジタルのみ可 (アナログ不可)
- 出力端子: IEEE1394A コンピュータ接続
- フレーム数: 毎秒 30 フレーム以上
- 解像度: 最低 640x 480 ピクセル、最大 720x480 ピクセル
- シャッター速度: 手動調整
- 利得調整: 光学式利得調整
- 広角レンズ (オプション)

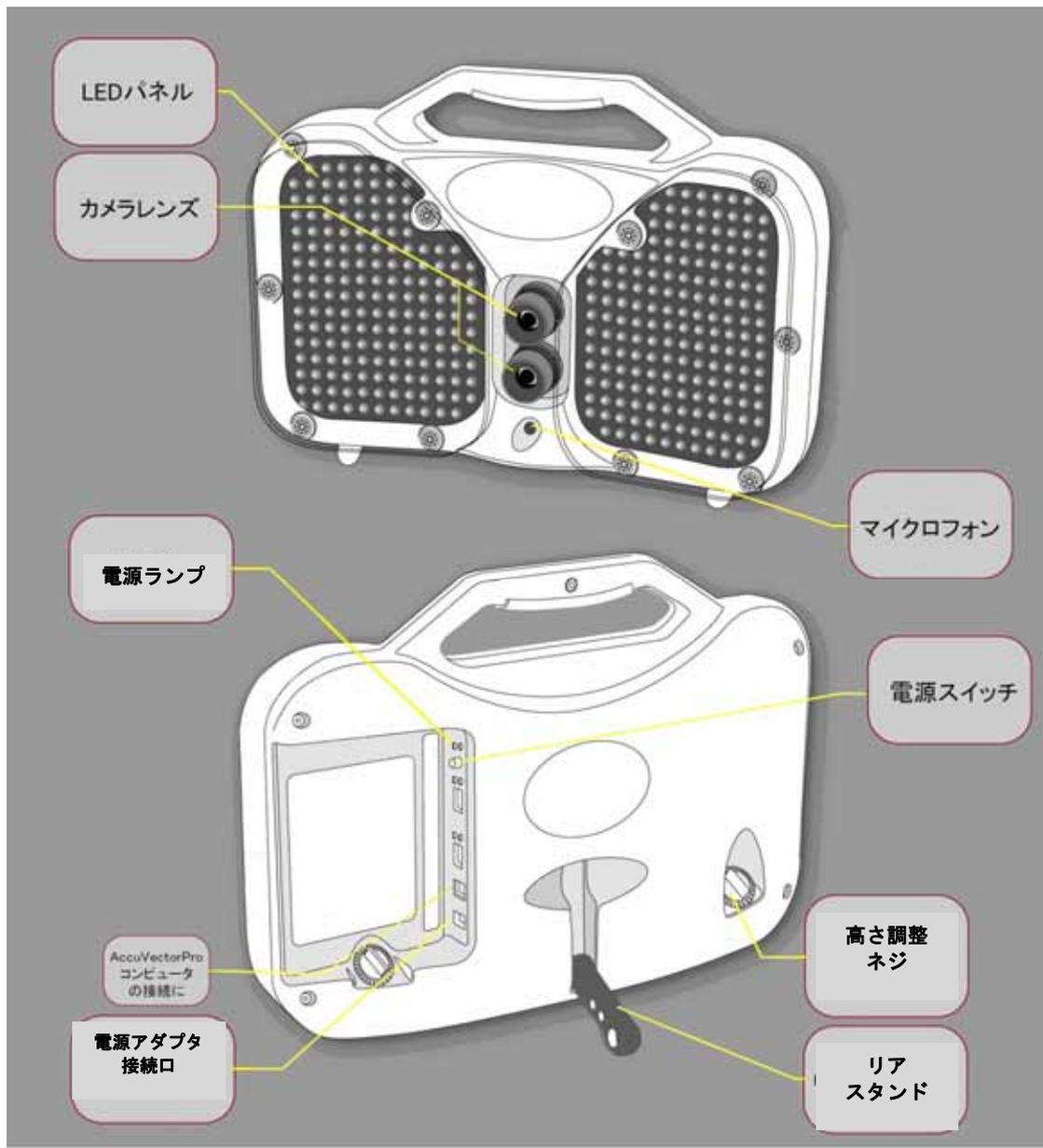
## 安全のしおり

- 製品に記載されているすべての注意事項と取扱指示に従ってください。
- AccuVector Pro を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- スイングの際、AccuVector Pro に当たらないようにしてください。
- ご利用になる前に、保護シールドを取付けてください。AccuVector Pro の損傷を防ぐため、常に保護シールドを取付けて使用してください。
- AccuVector Pro 本体の内部を開けたり分解をしないでください。内部には高圧電流が流れています。また、精巧な部品で構成されています。AccuVector Pro を開けると、事故の発生や故障の原因になるばかりでなく、保証も無効になります。
- AccuVector Pro にいかなる液体もかからないようにしてください。また湿気が入らないようにしてください。
- AccuVector Pro またはコンピュータシステムの故障を避けるため、付属のケーブルおよび電源アダプタ以外はご使用にならないでください。

## お手入れと取り扱い

- AccuVector Pro には、充電電池が搭載されています。AccuVector Pro を充電するには、本体の電源を切って電源アダプタをつなぎ、一晩または最低 6 時間差し込んでおいてください。
- AccuVector Pro のレンズをクリーニングする必要がある場合は、カメラや眼鏡用クリーニングキットをご使用ください。ペーパータオルやティッシュはお勧めしません。
- AccuVector Pro ケースの外側は、湿らせた布で拭くことができますが、クリーニングをする前に AccuVector Pro の電源を切り、電源アダプタを外してください。各種入出力端子等から本体内部に液体が入らないように充分ご注意ください。故障の原因となる場合があります。

## AccuVector Pro イラスト



## ソフトウェアをインストールする前に- Windows XP

以下は、Windows XPのOS がコンピュータのUSB ポートを シャットダウンしないようにするため、および VSeries ソフトウェアの使用中にコンピュータの処理速度を落とさないために必要なステップです。

### 電源オプション設定

- 1) Windows XP のスタートボタンを選択します。
- 2) 「設定」 「コントロールパネル」を選択します。
- 3) 「電源オプション」を選択します。
- 4) 「電源設定」のドロップダウンから「常時オン」を選択します。
- 5) 画面右下の「適用」をクリックして、次に「OK」をクリックします。

### USB 省電力設定

- 1) Windows XP のスタートボタンを選択します。
- 2) 「マイコンピュータ」を右クリックします。
- 3) 「管理」をクリックします。
- 4) 「コンピュータの管理」画面から、「デバイスマネージャ」を選択します。
- 5) 右側のハードウェアリストから「USB (ユニバーサルシリアルバスコントローラ)」をさがし、「USB (ユニバーサルシリアルバスコントローラ)」の横にあるプラス (+) 記号を選択して、USB デバイスを表示します。
- 6) リストに載っている 1 番目の「ルートハブ」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
- 7) 「USB ルートハブのプロパティ」ウィンドウで、「電源管理」タブを選択します。
- 8) 「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」というラベルの付いたボックスのチェックを解除します。
- 9) このウィンドウの下部にある「OK」をクリックします。
- 10) 「USB (ユニバーサルシリアルバスコントローラ)」の下にリスト表示されている残りの「ルートハブ」すべてに、7) ~9) を繰り返します。

## ソフトウェアをインストールする前に – Windows Vista および 7

以下は、Windows Vista または Windows 7 をベースとするコンピュータの電源 オプションを正しく設定して、VSeries ソフトウェアと連携させるために必要なステップです。

### 電源オプション設定

- 1) Windows のスタートボタンを選択します。
- 2) 「設定」 「コントロールパネル」を選択します。
- 3) 「ハードウェアとサウンド」 → 「電源オプション」を選択します ( 「電源オプション」 アイコンを表示するには、場合によりウィンドウ右隅の「クラシック表示」を選択する必要があります)。
- 4) 「高パフォーマンス」を選択します (Windows 7 では、場合により「追加プランを表示する」をクリックする必要があります)。
- 5) 次に、**電源プラン設定の変更**を選択します。

注：以下の手順にある、「バッテリー使用」設定はノート型 PC のみで使用可能です。デスクトップコンピュータではレイアウトは類似していますが、「バッテリー使用」や「プラグイン」ラベルは存在しません。しかし、この手順で省電力機能付きデスクトップコンピュータにも Vector Pro を正しくセットアップすることができます。

- 6) 「コンピュータをスリープ状態にする」の項目を設定します。
  - 「バッテリー駆動」および「電源に接続」両方共に「分」の数字の横の下向き矢印をクリックして、「使用しない(なし)」を選択する。
- 7) その画面の下部にある「**詳細な電源設定の変更(C)**」を選択。(新しいウィンドウが表示されます)
  - (1) 「ハードディスク」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択。「次の時間が経過後ハードディスクの電源を切る」の横のプラス (+) 記号を選択。「バッテリー駆動」および「電源に接続」を一度クリック後、「分」の表示が「なし」になるように「分」表示の横の下向き矢印で選択し設定します。
  - (2) 「スリープ」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択します。
    - 「次の時間が経過後スリープ状態にする」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択して「バッテリー駆動」および「電源に接続」を一度クリック後、「分」の表示が「なし」になるように「分」表示の横の下向き矢印で選択し設定します。

- 「ハイブリッドスリープを許可する」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択します。「バッテリー駆動」および「電源に接続」を一度クリック後、「分」の表示が「オフ」になるように「分」表示の横の下向き矢印で選択し設定します。
  - 「次の時間が経過後休止状態にする」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択します。「バッテリー駆動」および「電源に接続」を一度クリック後、「分」の表示が「なし」になるように「分」表示の横の下向き矢印で選択し設定します。
- (3) 「USB 設定」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択します。
- 「USB のセレクトティブサスペンド設定」ラベルの横にあるプラス (+) 記号を選択します。「バッテリー駆動」および「電源に接続」を一度クリック後、下向き矢印を順に選択して、「無効」を選択します。
- (4) 「プロセッサの電源管理」ラベルの横のプラス (+) 記号を選択します。
- 「最小のプロセッサの状態」ラベルの横にあるプラス (+) 記号を選択します。「バッテリー使用時」および「電源接続時」を一度クリック後、「%」の表示が「100」になるように「%」表示の横の上向き矢印で選択し設定します。
  - 「最大のプロセッサの状態」ラベルの横にあるプラス (+) 記号を選択します。「バッテリー使用時」および「電源接続時」を一度クリック後、「%」の表示が「100」になるように「%」表示の横の上向き矢印で選択し設定します。
- 8) このウィンドウの右隅下の、「適用」を選択して、次に「OK」を選択します。
- 9) 前項の「電源オプション設定」ページが表示されているので、「変更の保存」を選択します。
- 10) 右上の赤い「X」ボタンをクリックして電源オプションウィンドウを終了し、設定を完了します。
- 11) コンピュータを再起動します。

## ユーザーアカウント制御の無効化 (Windows Vista および 7)

Windows Vista および Windows 7 のオペレーティングシステムが、VSeries のインストールを妨害したり、アプリケーションを開く際にエラーメッセージが出たりするのを防ぐため、ユーザーアカウント制御の無効化を推奨します。

**\*インストール後にユーザーアカウント制御 (UAC: User Account Control) 設定を変更すると、ソフトウェアが不安定になることがあります。**

**\*インストール後にユーザーアカウント設定を変更しないでください。**

- 1) スタートを左クリックします。
- 2) 「コントロールパネル」を左クリックします。
- 3) 「ユーザーアカウント」を左クリックします (「ユーザーアカウント」アイコンが表示されていない場合は、ウィンドウの左上「クラシック表示」をクリック、又は「表示方法」から「小さいアイコン」をクリックしてください)。
- 4) (Vista) 「ユーザーアカウント制御の有効化または無効化」を左クリックします。  
(Windows 7) 「ユーザーアカウント制御設定の変更」を左クリックします。
- 5) (Vista) 「ユーザーアカウント保護」チェックボックスのチェックを外します。  
(Windows 7) 左側にあるスライダを「通知しない」まで下へ移動させます。
- 6) 「OK」をクリックします。
- 7) コンピュータを再起動します。

## ソフトウェアのインストール (Windows XP、Vista、7)

\*以下のステップは、Windows XP 向けです。外見は異なりますが、Windows Vista および Windows 7 も手順は同様です。

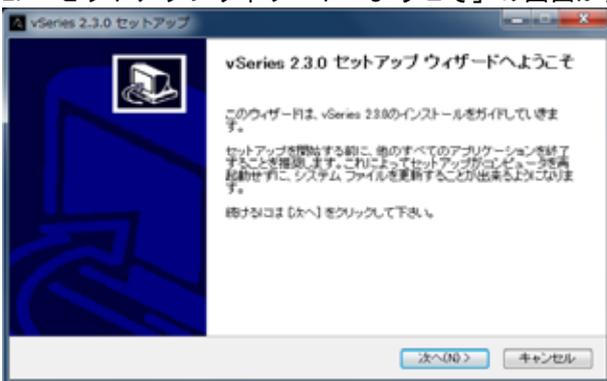
AccuVector Pro をお使いになる前に、コンピュータにソフトウェアをインストールしてください。ソフトウェアのインストールが完了後に Accuvector Pro をコンピュータに接続してください。

ソフトウェアのインストールが自動的に起動しない場合には、マイコンピュータから CD ドライブをダブルクリック、「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

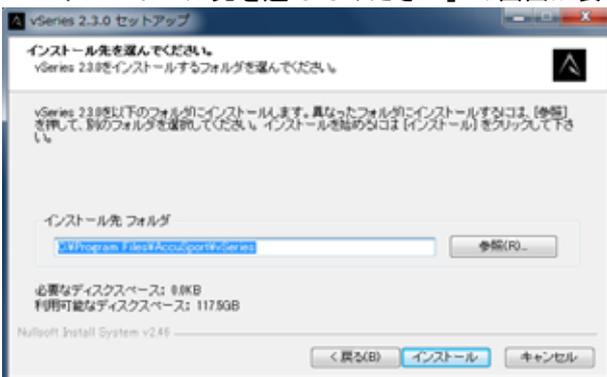
1. 言語の選択画面が表示されたら「Japanese」になっていることを確認、「OK」をクリック。



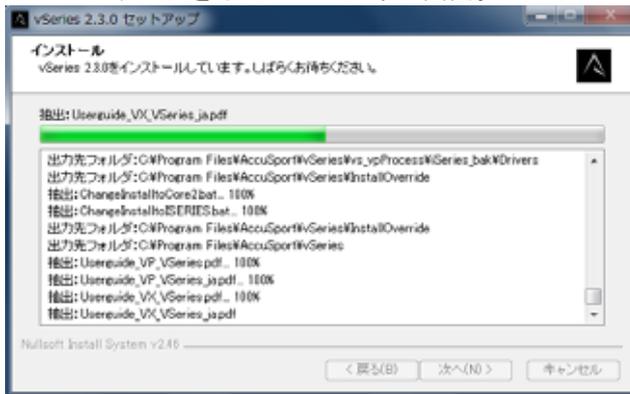
2. 「セットアップウィザードへようこそ」の画面が表示されたら「次へ」をクリック。



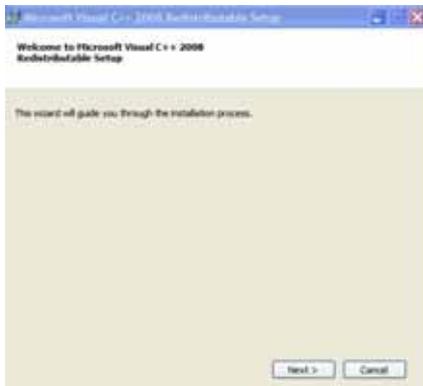
3. 「インストール先を選んでください」の画面が表示されたら「インストール」をクリック。



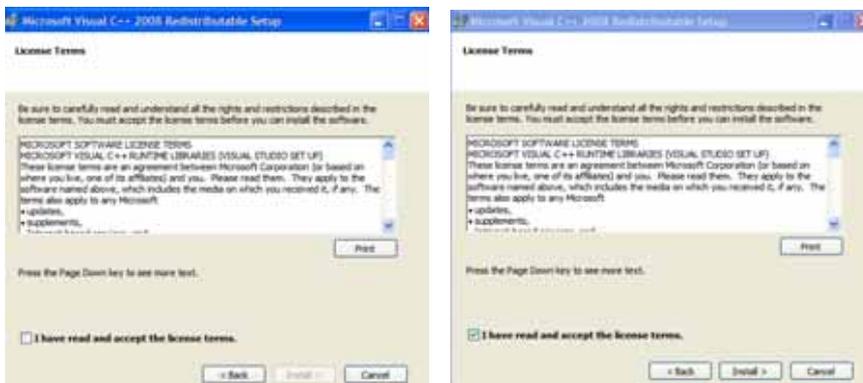
4. ソフトウェアをインストール中の画面。



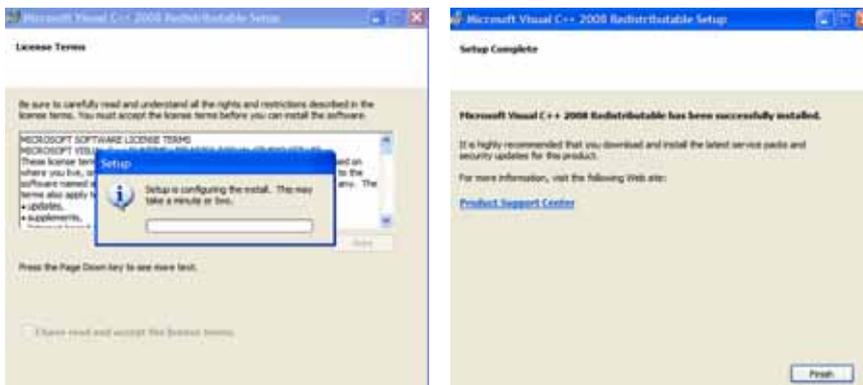
5. この画面が表示されたら「次へ」をクリック。Microsoft visualC++2008 がインストールされます。この画面は表示されない場合はステップ9へ進んでください。



6. この画面が表示されたら下部のチェックボックスにチェックを入れた後「インストール」をクリック。この画面は表示されない場合があります。



インストール中画面、完了後に「完了 Finish」をクリック。



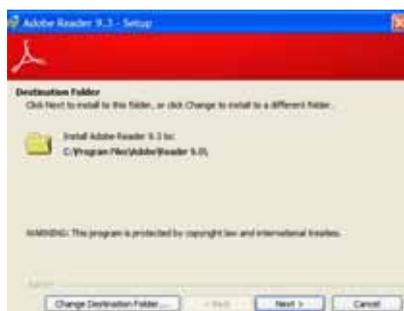
7. この画面が表示されたら上部の「I have read and ACCEPT 規約を読んで了承」にチェックを入れ、「インストール」をクリック。Microsoft Net Framework3.5がインストールされます。  
この画面は表示されない場合があります。



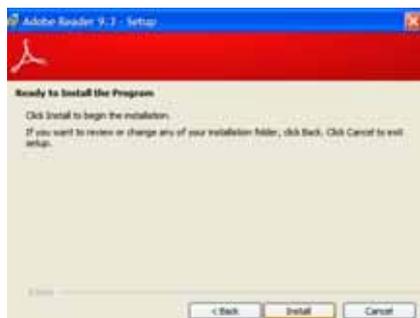
インストール中画面、インストールが完了したら「終了」をクリック。



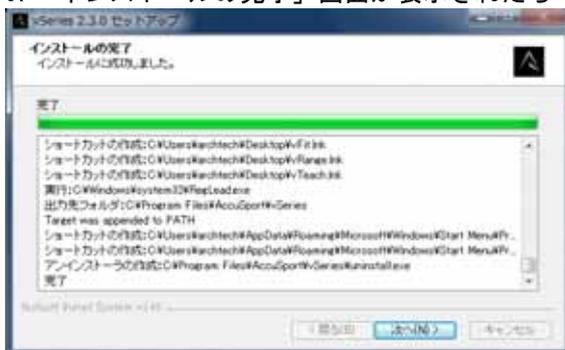
8. この画面が表示されたら「次へ」をクリック。Adobe Reader がインストールされます。  
この画面は表示されない場合があります。



インストール画面が表示されたら「インストール」をクリック。完了したら「終了」をクリック。



9. 「インストールの完了」画面が表示されたら「次へ」をクリック。



10. 「vSeries セットアップウィザードは完了しました」の画面が表示されたら「完了」をクリック。



## ハードウェアの設定 (Windows XP)

1. 本設定を行う前に、VSeriesソフトウェアがインストールされていることを確認ください。
2. 本機の前面左右に保護シールドを2個取付けます。保護シールドを装着せずに使用した時に発生した破損等は保証の対象となりません。
3. 電源アダプタを本機に接続します。
4. USBケーブルを本機とパソコンのUSBコネクタへ接続します。
5. 本機裏側にあるスタンドを引き出し、ユニットを地面に設置します。
6. 本機の電源を入れると電子音が2回鳴ります。
7. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されます。「一覧または特定の場所からインストールする」を選択して、「次へ」をクリックする。



8. 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択して、「次へ」をクリックする。



9. 「ハードウェアの種類」の画面がでたら画面をプルダウンし、「Universal Serial Bus Controllers」を選択、「次へ」をクリックする。



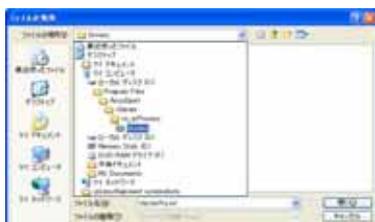
10. 「ディスク使用」をクリックする。



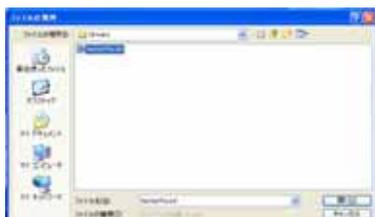
11. 「参照」をクリックする。



12. ドロップダウンメニューを使用して、ローカルディスクC:\Program Files\AccuSport\vsSeries\vs\_vpProcess\Driversを選択する。



13. 「Vector Pro」を選択して、「開く」をクリックする。



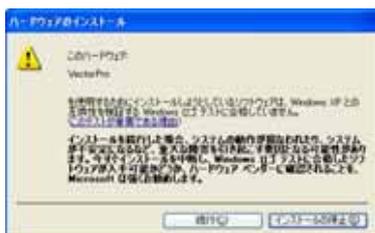
14. 「ディスクからインストール」と表示されたら「OK」をクリックする。



15. この画面が出たら「次へ」をクリックする。



16. この警告画面が出たら「続行」をクリックする。



17. Vector Pro ドライバのインストール中画面。



18. 「ハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されれば「完了」をクリックする。

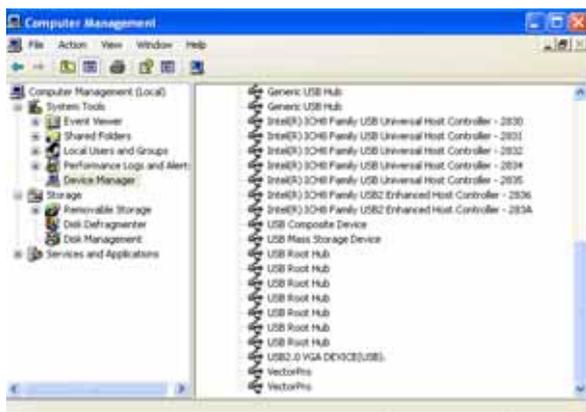


19. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面は最高 4 回まで表示されます、ステップ 7 から 1 8 を繰り返し行います。

AccuVectorProのハードウェアインストールが完了すると、「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」とメッセージがポップアップします。

20. ソフトウェアが正しくインストールされているか、以下の手順で確認します。

- ・画面左下にある「スタート」ボタンをクリックする。
- ・「マイコンピュータ」を右クリックする。「管理」をクリックする。
- ・システムツールの「デバイスマネージャ」をクリックする。
- ・画面右側の「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」をクリックする。
- ・「VectorPro」が 2 個リストアップされていることを確認します。



**注：**ドライバが正常にインストールされていない場合には、ビックリマークについたドライバにカーソルを当て右クリックしてください。「ドライバの更新」をクリック後ステップ7から18を行ってください。

**注：**コンピュータへドライバを最初にインストールしたのと同じUSBポートを必ず使用してください。同じUSBポートを使用しない場合、ハードウェアドライバを再インストールする必要がある場合があります。

## ハードウェアの設定 (Windows Vista および 7 (32 / 64 ビット OS))

**重要** : 64 ビット OS コンピュータを使用の場合。

ハードウェアの設定を行う前に、必ず以下を実行してください。

(32 ビットコンピュータを使用の場合は不要です、「ハードウェアの設定」に進んでください。)

- a. コンピュータを再起動 (一旦電源を切って再度電源を入れる) してください。直後 (画面が真っ暗な間) に、キーボード上にある「F8」キーを連打し続けてください。
- b. 30 秒かそれ以下の時間で「詳細ブート オプション」のメニューが現れます。
- c. 下向きの矢印キー「↓」を押して「ドライバ署名の強制を無効にする」を選択、「Enter」キーを押してください。

通常の立上げ画面になります。

### ハードウェアの設定(32 ビット/64 ビット OS 共通)

1. 本設定を行う前に、VSeriesソフトウェアがインストールされていることを確認してください。
2. 本機の前面左右に保護シールドを2個取付けます。保護シールドを装着せずに使用した時に発生した破損等は保証の対象となりません。
3. 電源アダプタを本機に接続します。
4. USBケーブルを本機とパソコンのUSBコネクタへ接続します。
5. 本機裏側にあるスタンドを引き出し、ユニットを地面に設置します。
6. 本機の電源を入れると電子音が2回鳴ります。

\* コンピュータに「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が自動的に表示された場合は、そのままステップ7へ。

\* 「ドライバソフトウェアは正しくインストールされませんでした」のポップアップメッセージが出た場合には、ページ24のステップ22へ。

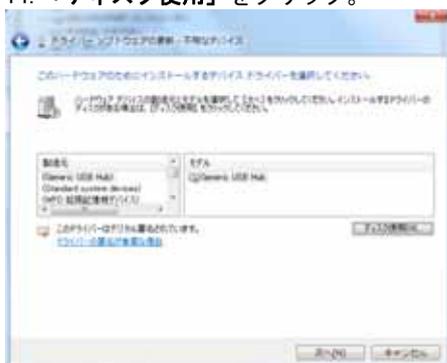
7. 「新しいハードウェアが検出されました」の画面が表示されます。「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)」を選択する。



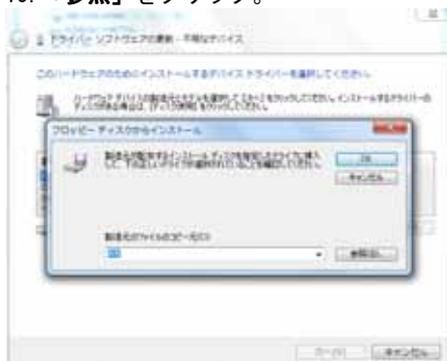
8. 「ユーザーアカウントコントロール」の画面が表示された場合には「続行」をクリックする
9. 「新しいハードウェアが見つかりました。不明なデバイスです」の画面が表示されたら「オンラインで検索をしない」を選択する。  
\* パソコンによっては、このメッセージは表示されない場合があります。



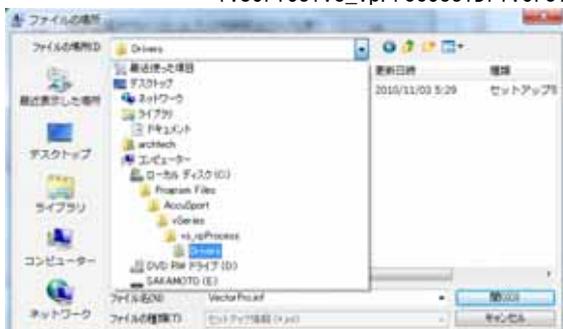
14. 「ディスク使用」をクリック。



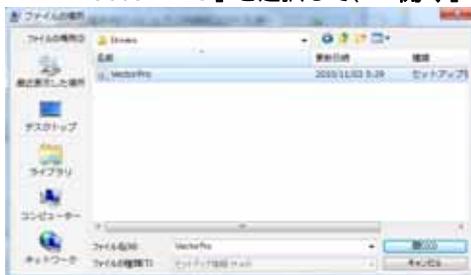
15. 「参照」をクリック。



16. ドロップダウンメニューを使用して、以下を順次選択していく。  
32bitOSの場合：ローカルディスク (C) : ¥Program files¥Accusport¥vSeries ¥vs\_vpProcess¥Drivers¥VectorProを選択。  
64bitOSの場合：ローカルディスク (C) : ¥Program files (X86) ¥Accusport ¥vSeries¥vs\_vpProcess¥Drivers¥VectorProを選択。



17. 「Vector Pro」を選択して、「開く」をクリック。



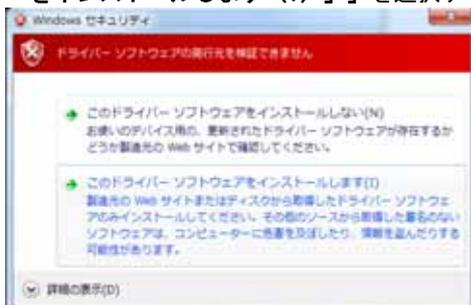
18. 「OK」をクリック。



19. 「次へ」をクリック。



20. 「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」の画面が表示されたら、「このドライバソフトウェアをインストールします (I) 」を選択する。



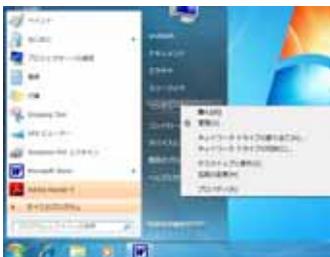
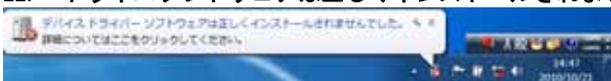
21. 「ドライバソフトウェアは正常にインストールされました」の画面が表示されたら「閉じる」をクリックする。 デバイス名 : VectorPro



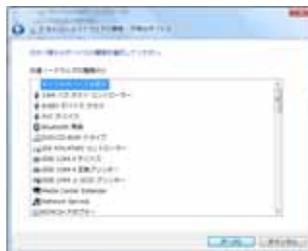
再度「新しいハードウェアが検出されました」の画面が表示されますので、ステップ7から21までを繰り返し行ってください。

ハードウェアの設定は完了です。  
コンピュータを再起動してください。

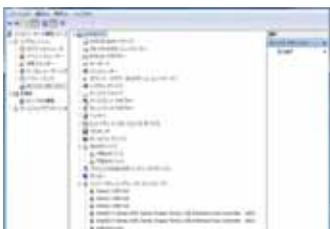
22. 「ドライバソフトウェアは正しくインストールされませんでした」のポップアップメッセージが出た場合。



「スタート」から「コンピュータ」を右クリック。「管理」をクリック。



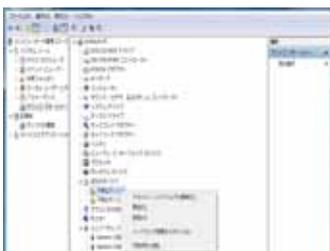
「次の一覧からデバイスの種類を選択してください」の画面がでたら、そのまま「次へ」をクリックする。



左側の「デバイスマネージャ」をクリック。右側の画面に「不明なデバイス」（黄色でピックアップマークが付いているもの）が2個ある。



「ディスク使用」をクリックする。



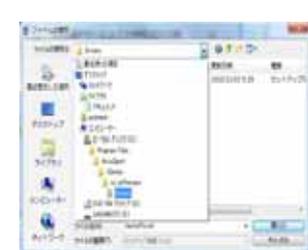
「不明なデバイス」を右クリックし、「ドライバーソフトウェアの更新」をクリックする。



「参照」をクリックする。



下側の「コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックする。



上部のプルダウンメニューから、以下を順次選択する。  
**32bitOSの場合：**  
 ローカルディスク (C) :  
 ¥Program files¥Accusport  
 ¥vSeries¥vs\_vpProcess¥Drivers¥  
 VectorProを選択し、  
 「開く」をクリック。



下側の「コンピュータ上のデバイスドライバの一覧から選択します」をクリックする。

**64bitOSの場合：**  
 ローカルディスク (C) :  
 ¥Program files (X86)¥Accusport  
 ¥vSeries¥vs\_vpProcess¥Drivers¥  
 VectorProを選択し、「開く」を  
 クリック。



⑩ 「OK」をクリック。



⑫ 「ドライバーソフトウェアの発行元を検証できません」の画面が出たら、下側「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックする。



⑪ 「次へ」をクリック。



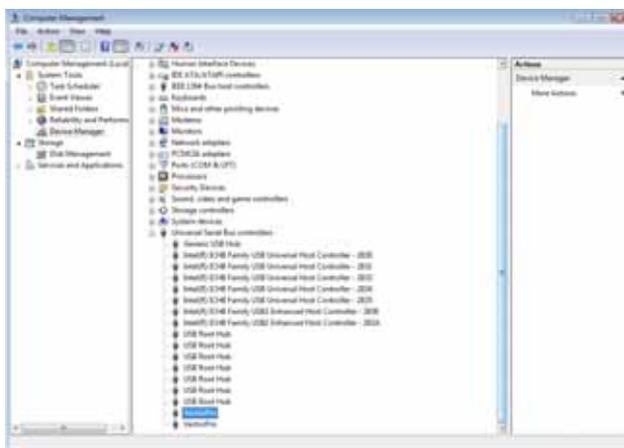
⑬ 「ドライバーソフトウェアが正常に更新されました」の画面が出たら「閉じる」をクリック。

再度②から⑬まで行い、もう一つの「不明なデバイス」の設定を行なう。

ハードウェアの設定は完了です。  
コンピュータを再起動してください。

23. ソフトウェアが正しくインストールされているか、以下の手順で確認します。

- ①画面左下にある「スタート」ボタンをクリックする。
- ②「コンピュータ」を右クリックする。
- ③「管理」をクリックする。
- ④システムツールの「デバイスマネージャ」をクリックする。
- ⑤画面右側の「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」をクリックする。
- ⑥「VectorPro」が2個リストアップされていることを確認します。



注：ドライバが正常にインストールされていない場合には、ドライバ(ビックリマークが付いている)にカーソルを当て右クリックしてください。「ドライバの更新」をクリック後ステップ22の から を行ってください。

注：コンピュータへドライバを最初にインストールしたのと同じ USB ポート を必ず使用してください。同じ USB ポートを使用しない場合、ハードウェアドライバを再インストールする必要がある場合があります。

## ご使用前に

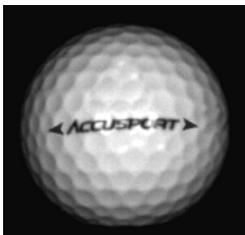
### バッテリーを充電する

バッテリーを充電するには、AccuVector Proに電源アダプタを接続します。Vector Pro の電源が切りになっていることを確認して、ユニットを一晩または最低 6 時間充電できるようにしてください。

完全に充電されたバッテリーを使用する場合は、AC 電源は不要です(2~3 時間使用できません)。バッテリーが充電されていない場合、または AccuVector Pro を長時間使用する場合は、電源アダプタをコンセントに差し込んでください。

### ボールのマーキング

VSeries ソフトウェアは、ゴルフボールの黒いマークを使って、スピンを計測します。打球位置にボールをセットする際に、このマークを 本体カメラ レンズに向ける必要があります。これ以外のマークは、カメラに写らないようにします。自分でマークを付ける場合は、白いボールの表面の余白に黒いマジックを使ってマーキングしてください。



ロゴを使う方法 - 現在販売されているゴルフボールのほとんどは、写真のような直線タイプのマークが付いています。あるいは、下のようなストライプ状のマークを使用することもできます。



ストライプマークを使う方法 - ボール表面の余白に、最低長さ 1 インチ (2.54 cm)、1/8 インチ (約 3 ミリ) 幅の黒いストライプを 1 本描きます。このマークは、カメラレンズの方に向けた時にはっきり分かる、完全な直線でなくてはなりません。ゴルフ業界でよく利用されているさまざまなゴルフボールマーキングキットで描いた直線を、VSeries ソフトウェアでご使用いただけます。

## ソフトウェアを起動する

コンピュータの電源を入れて、AccuVector Pro を USB ケーブルでコンピュータに接続します。ご使用のコンピュータのデスクトップにある VFit 、VTeach 、VRange  のアイコンをダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。ソフトウェアが開いたら、AccuVector Pro ユニットの電源を入れます。

## データベースをインポートする

VSeries ソフトウェアを初めて開くと、すでにインストール済みのソフトウェアの旧バージョンからデータベースをインポートするよう指示が表示されます。

\* ソフトウェアの旧バージョンをインストールしていない場合は、終了 (Exit) をクリックしてください。



ソフトウェアの旧バージョンをインストール済みの場合は、対応するボックスにチェックを入れてインポート (Import) をクリックします。ソフトウェアは、インストールしている新しいソフトウェアのアクセス用データベースを自動的にレンダリングします。

## ソフトウェアの機能

注：Vrange を動作させるには、Vfit および Vteach を起動させておく必要があります。

### ユーザーインターフェースの説明

セッション、パフォーマンス、打球測定、弾道情報、プレーヤデータを各ソフトウェアのモジュールと同様の方法で表示します。ここでは、ソフトウェアの上左隅から画面を時計回りに、この情報とツールバーメニューオプションについて説明します。



**ビデオカメラの接続：** 上左隅のカメラのアイコンは、デジタルビデオカメラが接続されて認識すると、黒色から緑色に変わります。



**Vector Pro の接続：** 上左隅の AccuSport のロゴは、Vector Pro が接続されて認識すると、黒色から緑色に変わります。

ファイル 設定 弾道観測 ヘルプ

**ツールバー：** ソフトウェアの機能選択、環境設定、設定の変更等の使い方については、28 ページの説明をご覧ください。



**測定データの消去：** 画面上のすべてのショットデータを消去します。



**打球弾道解析：** 画面上部に、「キャリア」、「左右ブレ」、「総距離」が表示されます。白い数字は、最新ショットのデータを示しています。金色の数字は、その項目のショットの平均値を示しています。

総距離には、キャリアとランが含まれます。方向 (左右ブレ) は、右が「R」、左が「L」で表されます。



**フルスクリーンモード：** VRange は、フルスクリーンモードでレンジを開くため、リアルなシミュレーションを体験していただけます。VTeach は、ビデオキャプチャウィンドウをフルスクリーンモードで開くため、表示状態が改善されます。VFit には、このボタンの機能はありません。



最小化: ソフトウェアの画面を最小化します (タスクバーに収めます)。



最大化: ソフトウェアの画面を最大化します。



閉じる: ソフトウェアを閉じます。



トリガー遅延設定 (Delay) の切り替え: プレイヤのスイング速度やクラブの選択に従って、速-中-遅を切り替えます。(ドライバー: F速、アイアン: M中、ウェッジ: S遅 等)



スコア: 本ソフトウェアは、各ショットのすべてのパラメータに基づいて、そのショットを0~100点の範囲で採点します。

## ローンチダイヤル

ソフトウェア下部にあるローンチダイヤルには、各ショットのローンチデータ情報が表示されます。



ボールスピード: マイル/時 (MPH)、フィート/秒 (FPS)、キロメートル/時 (km/h)、メートル/秒 (m/s) で計測します。単位を変更するには、「オプション (Options)」 > 「環境設定 (Preferences)」をクリックします。



ヘッドスピード: マイル/時 (MPH)、フィート/秒 (FPS)、キロメートル/時 (km/h)、メートル/秒 (m/s) で計測します。単位を変更するには、「設定」 > 「初期設定項目」をクリックします。



打出角度: 角度で表示します。



降下角度: 弾道の頂点から降りる時の地面に対するゴルフボールの角度を算出します。



バックスピン: RPM で表示します。

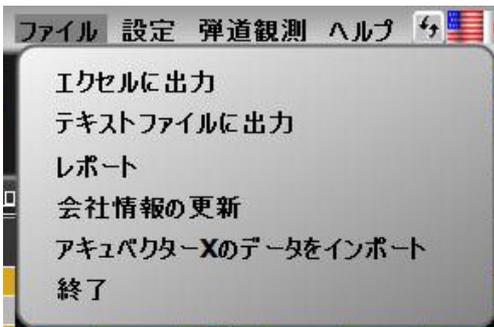


サイドスピン: 数字の下のラベルは、ドロー/フック、フェード/スライス、またはセンターを表します。RPM で表示します。



打出し方向: 数字の下のラベルは、プッシュ、プル、センターを表します。角度で表示します。

## ファイル



エクセルに出力: ご使用のコンピュータにマイクロソフトのエクセルが入っている場合は、「ファイル」メニューの「エクセルに出力」をクリックして、テキストをエクセルのスプレッドシートにエクスポートします。

テキストファイルに出力: 「テキストファイルに出力」をクリックして、ショットデータをテキストファイルにエクスポートできます。



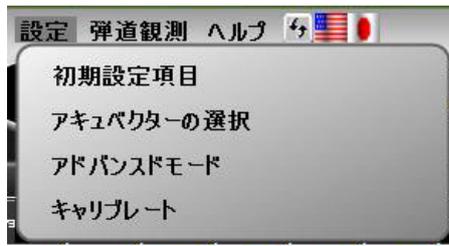
レポート: 計測データの印刷可能版を生成します。全ショットを確認する「フルレポート」と、平均的項目のみ確認する「平均レポート」から選べます。また、メモを追加して、印刷可能版に表示できます。

会社情報の更新: 企業情報を更新して、レポートをパーソナライズできます。この情報は、すべての印刷レポートに記載されます。

**AccuVectorXのデータをインポート:** フラッシュドライブに保存された VectorX データをインポートします。\*AccuVector Pro には適用されません。

**終了する:** ソフトウェアを閉じます。

## 設定



### 初期設定項目:



「**天候**」: 設置場所の状況を設定する。

「**風向**」設定:

- ・アゲインスト (向かい風) 時は 0 度。
- ・フォロー (追い風) 時は 180 度に設定。
- ・風が右から吹く場合は 90 度、左から吹く場合は 270 度になります。

「**初期設定値**」: 天候ボックスの値を初期設定に戻します。

注: 天候の項目を設定する時は、最初に単位「メートル」を選択後、各天候項目を設定する。ヤードで使用する場合にはその後に単位を「ヤード」に変更すれば天候項目も自動的にヤードに変更されます。

### 「ショット品質」:

- ・この項目に**チェック**を入れる: ソフトウェアがショットを正確に分析できない場合は、画像に何か問題があることがほとんどです。その場合はショットデータが作成されず、画像ウィンドウに「分析終了」と表示されます。
- ・この項目の**チェック**を外す: ショットを打つたびに、画像の正確な分析が不可能な場合でもソフトウェアにデータを表示させることができます。この設定により、ソフトウェアの処理済みショットを必要とせず、VTeach にビデオを録画できるようになります。録画オプションについての詳細は、43 ページをご覧ください。

「パフォーマンス」：ボール速度に対する弾道効率に基づいて、各ショットを0～100点の範囲で採点します。パフォーマンスは、ローンチデータの実測された変数すべてを考慮に入れます。

「ミート率」：クラブの速度に対するボール速度の指数として表される、古典的なスコア計算法です。打球の弾道を測定する際に、速度が唯一の情報だった時に使われたものです。PTIの数値は、通常1.4～1.5の範囲内です。

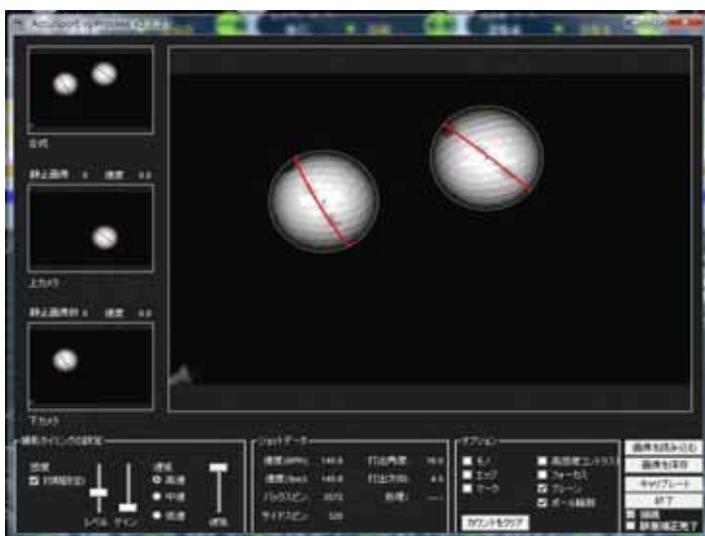
・色分け: 「標準」：ショットのプロファイルおよびVRRangeソフトウェアの初期設定で、すべてのショットを白でプロットします。

「クラブのグループ化」を選択すると、各項目を比較しやすくするために、追加される各新規項目に新しい色が自動的に割り当てられます。

「警告表示」：このボックスがチェックされている場合、プレーヤのセッションが未設定だと、第1ショットを打った後で「セッションは保存されません」という警告が表示されます。プレーヤのセッションを設定してデータを自動保存する必要がない場合は、Okをクリックして、続けてください。

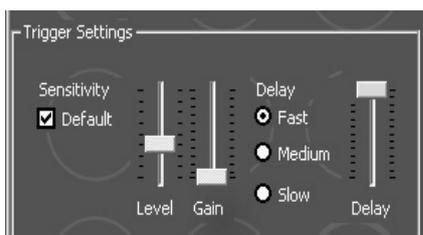
**アキュベクタの選択:** ソフトウェアと連動してどちらのユニットを使用するかに応じて、AccuVector Pro または AccuVectorX を選択します。

## アドバンスドモード:



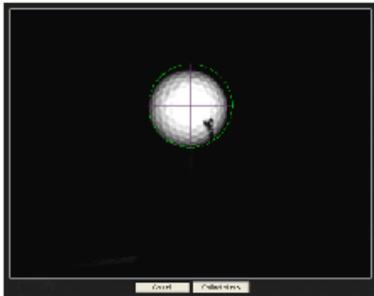
上カメラと下カメラの画像、マイク作動設定、画像追加機能オプション(モノ、エッジ、マーク、プレーンなど)を含むゴルフショットの詳細情報が表示されます。また、自動で焦点を合わせてカメラの明るさを設定するフォーカスモードがあります。

「撮影タイミングの設定」には、以下が表示されます。



初期設定の感度は、すべてのクラブと打球コンディションに適用されます。遅延「高速」は、大半のコンディションに適しています。低速スイングやアイアンショットは、遅延を「中速」や「低速」に設定する必要が生じる場合があります。

## キャリブレーション: (AccuVector Pro のみ)



キャリブレーションでは、2つのカメラレンズの明るさと焦点を設定します。セットアップと照明条件の変更を行う際には、「キャリブレーション」を使用します。

## 弾道観測:



弾道曲線: 「単独表示」を選択すると、1回に1ショットのみショットプロファイルとVRangeにプロット

されます。このショットは最後の打球か、ショット履歴ウィンドウでその時点で選択されているショットです。

「全てを表示」を選択すると、各ショットがプロットされます。最後の打球 (またはその時点で選択されているショット) は明るく表示され、そのほかはすべて透けて表示されます。

\*VRange ソフトウェアでは、ビューメニューオプションは異なります。詳しくは48ページを参照してください。

## ヘルプ:



「AccuVector Pro」「AccuVector X」のユーザーガイド (PDF) を開く。

「バージョン情報」: ソフトウェアのバージョンを表示する。

## プレーヤのデータベースを管理する



**プレーヤを選択する:** 新しいプレーヤの情報を  
入力する、または既存プレーヤの保存データ  
にアクセスする 場合、プレーヤの左にある矢印をクリックしてデータベースを開き  
ます。



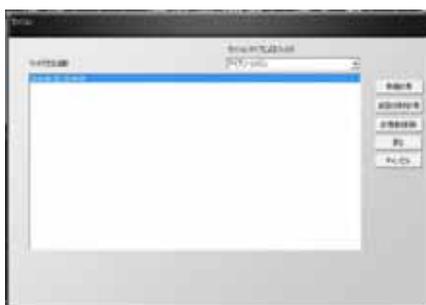
1) 「新規プレーヤ」 または「既存プレーヤ」 を  
選択します。



2a) 新規プレーヤの場合: 「新規プレーヤ」をクリ  
ックして、名前と連絡 先を入力します。「次へ」  
をクリックして、アク ティビティ情報の入力に進  
みます。



2b) 既存プレーヤの場合: リストからプレーヤを選  
択します。リス トに掲載されているプレーヤが見  
つからない場合は、 プレーヤの姓か名を入力して  
「検索」 をクリックします。選択したいプレーヤ  
をクリックして、「次へ」をクリックします。



前回のセッションを継続または表 示するには、「計  
測を継続」をクリックします。これで、セッション  
に 直接進めます。新セッションを開始したい場合  
は、「新しい計測を開始」をクリックして、カテゴ  
リ情報の入力を進めます。



3) カテゴリを選択する: カテゴリリス トから選択す  
るか、または自分自身のカテゴリを作成します。こ  
うすることで、今後過去の 計測値を表示した際に、  
計測値内容を識別 できるようになります。



4) アイテムを選択する: 選択されたカテゴリに従って、項目の詳細なリストが表示されます。「新規作成」をクリックすると、新規項目の追加もできます。項目にはクラブ、ヘッド、シャフト、ボールなどがあり、セッションを通して識別子となります。

5) 「次へ」をクリックしてウィンドウを閉じ、計測を開始します。プレーヤ名、項目、カテゴリが画面下のプレーヤ情報バーに表示されていることを確かめてください。

### ▲ アイテム Driver 2

**項目を選択する:** 計測中、各項目の比較が必要になる場合があります。項目の矢印をクリックして、次に比較したい項目を選択します。項目を選択したら、「次へ」をクリックします。すると、選択した項目の新たな平均ラインは次のショットから開始されます。

### カテゴリーの選択 Driver Lesson

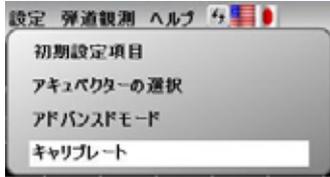
**カテゴリーの選択:** プレーのセットアッププロセス中に、選択したカテゴリを表示します。割り当てられた特定のカテゴリのセッションが、一旦開始されると、選択したカテゴリを変更できません。

-----

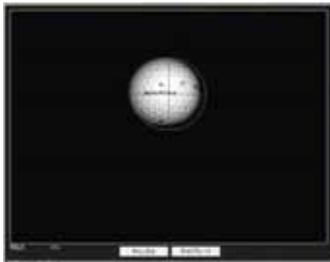
**\*\*一旦、プレーヤおよびカテゴリ項目が指定されると、そのセッション内のすべての打球が自動保存されるようになります。**

## セットアップ

### キャリブレーション



正確なデータを確実に得られるよう、毎回ご利用になる前に Vector Pro のキャリブレーションを行うことをお勧めします。「設定」から「キャリブレーション」をクリックします。

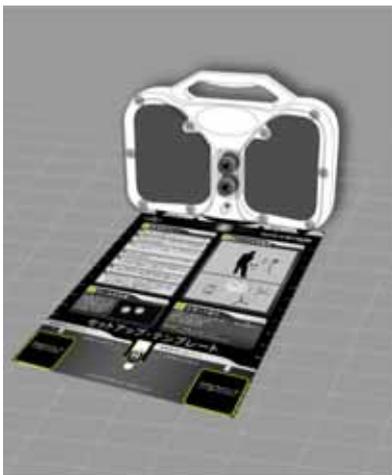


セットアップテンプレートと付属の黒いティーを使用して、画面上の緑色点線のターゲット内にボールを置き、「キャリブレーション」をクリックします。



「キャリブレーション完了」というメッセージが表示されます。「Ok」をクリックすると、メインソフトウェア画面に戻ります。キャリブレーションがうまくできない場合、キャリブレーションプロセスに戻って再度行なってください。画像内にボール以外が映ってないことを確認してください。

### ボールのポジショニング



セットアップテンプレートを使用して、正しいポジションでボールをティーに載せます。セットアップテンプレートを使用しない場合、33ページのセットアップイラストを見て、ゴルファーのポジションと打球ゾーンを把握してください。

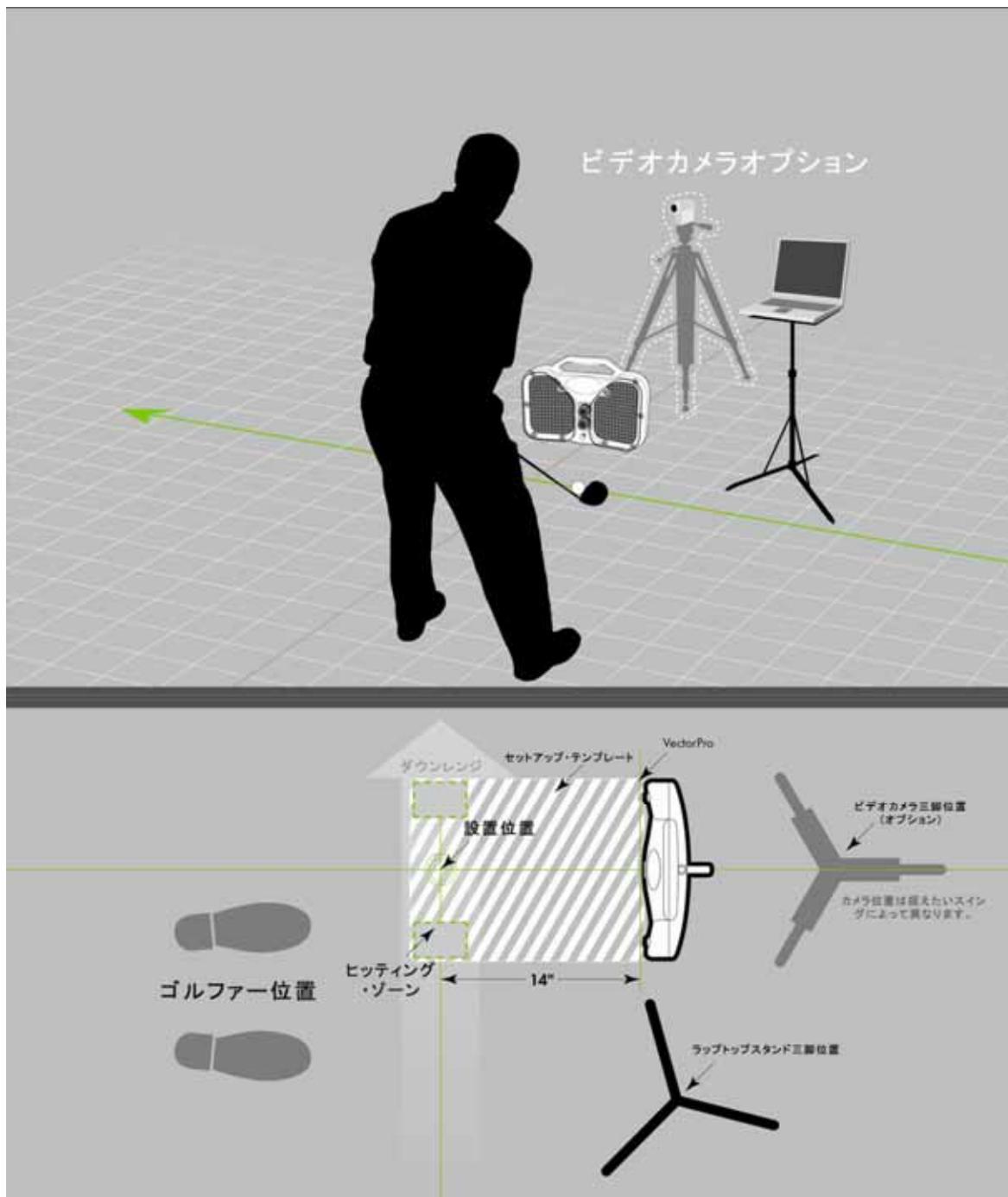
右利きゴルファーは、右ティーゾーンのティーにボールを載せてください。

左利きのゴルファーは、左ティーゾーンのティーにボールを載せてください。

**\*注：ショットを打つ時には、セットアップテンプレートを外してください。**

## AccuVector Pro、ノート型 PC、ビデオカメラのポジショニング

図は、右利きゴルファーのポジショニングを示しています。



## 第1ショットを打つ

ボールを打った後、画面右隅の画像を確認します。打球弾道パラメーターを正確に測定するために、本ソフトウェアでは、画像ウィンドウに完全なゴルフボールが2球表示されている必要があります。明瞭なボール画像が表示されていない場合、または「分析終了 (Analysis Terminated)」のメッセージが表示された場合は、「設定」から「アドバンスドモード」を開きます。各ボールのマークは、ボールの凹凸が区別できる明瞭な画像でなくてはなりません。また、ボールの輪郭が、ぼやけたり画面の端で切れていたりすることなく、完全に表示されている必要があります。詳細なトラブルシューティングについては、56 ページを参照してください。

## VFITソフトウェア

本セクションでは、VFit モジュール専用ソフトウェア機能について説明します。



フィッティング画面の上部には、測定データ履歴があります。画面下部には「分析」、「弾道」、「クラブインパクト」を表示しています。「測定データ履歴」の行をクリックし強調表示すると、そのショットのデータが下部ウィンドウに表示されます。

ソフトウェアの設定、ソフトウェアの機能、プレーヤ情報管理、キャリブレーションに関する一般的な情報については、13～35 ページを参照してください。

## 測定データ履歴

測定データ履歴																	
名前	ショット	ボール	ボールスピード	バックスピンの値	サイドスピンの値	打球角度	バックスピンの値	サイドスピンの値	打球方向	バックスピンの値	サイドスピンの値	打球角度	バックスピンの値	サイドスピンの値	打球角度	バックスピンの値	
Driver1			89.67	143	101	13.1	4,805	-1,061	-9.3	221	32	228	7	-42.4	33	4,750	6.8
Driver1	1	白色	84	144	102	14.8	4,807	-612	-1.5	224	9	232	8	-44.6	38	4,868	7.2
Driver1	2	白色	82	144	101	12.6	4,272	-1,044	-1.4	226	32	234	9	-40.7	31	4,403	6.7
Driver1	3	白色	76	141	101	12.0	4,736	-1,528	0.2	213	34	218	5	-42.0	29	4,977	6.4
Driver2			88.00	141	98	14.4	3,842	-575	-4.5	228	-2	239	11	-39.6	33	3,940	6.9
Driver2	1	ライム	91	141	98	16.1	3,816	-906	-5.3	229	4	239	11	-42.1	36	3,993	7.1
Driver2	2	ライム	85	142	99	12.7	3,869	-244	-3.6	228	-8	239	11	-37.2	29	3,888	6.6

測定データ履歴では、各グループの黄色の行内に、データを項目別にグループ分けし、まとめます。項目欄の+/- ボックスをクリックしてデータを折りたたみ、各項目の平均値の行のみを表示します。

個別またはアイテムの平均値をプロットするには、測定データ履歴の特定のショットや平均値の項目をクリックし、「プロット」（色表示）部分をクリックする。別ウィンドウが表示されるので色を選択し、「弾道」画面で確認ができます。

測定データ履歴のショットを削除する：行を選択して右クリックし、次に「ショットを削除する (delete shot) 」をクリックします。

平均値のみを表示: 簡単に比較するため、各平均値行の下の個別ショットを折りたたみます。



表を展開する: このアイコンをクリックして、測定データ履歴のビューを展開表示します。

## 分析（画面中央右側）

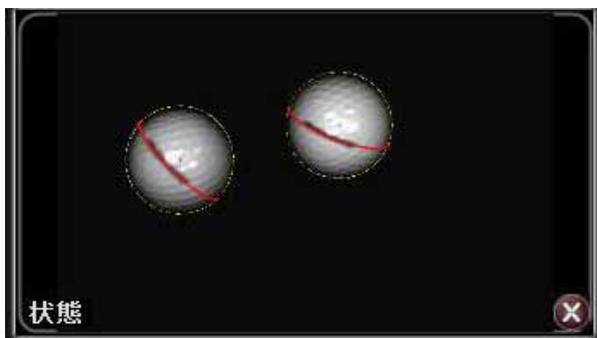


分析画面により、ショットを比較するためのさまざまなローンチ情報を入力できます。ローンチ情報は、ほかのショットとの修正、分析、比較が可能です。速度、スピン、ローンチアングル、サイドスピン、サイドアングル

といったローンチコンディションの仮定値を入力したら、「分析」をクリックして更新します。

\*本ソフトウェアは、打球後に右利きか左利きかを自動検出します。打球なしで「分析」機能を利用する場合は、データとプロットを補正するために右利きまたは左利きを指定する必要があります。

## 画像ウィンドウ



画像ウィンドウは、ソフトウェアの右下隅に位置しており、トップカメラとボトムカメラで撮影したボールの合成画像を表示しています。Vector Pro Launch Systemでは、スピンを測定するため、ゴルフボールに黒い線を付ける必要があります。ソフトウェアでは、この黒い線を赤色で表示し、ショットが正しく記録されたか検証します。

\*ソフトウェアが黒い線を誤って読み込んだ場合、正しい黒い線の両端を1回クリックすると、ボールのマークを付け直せます。ショット録画に関するトラブルシューティングをサポートするため、エラーメッセージもこのウィンドウに表示されます。最終ショットを削除したい場合は、右下隅の  「ショットを削除」ボタンをクリックします。

## ショット分析

距離	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	145	150	155
2900	220	223	226	228	230	232	234	236	237	238	240	242	244
2750	222	225	227	229	231	233	235	236	238	239	241	243	245
3000	224	226	228	230	232	234	235	237	238	239	241	242	244
3250	225	227	229	231	232	234	235	237	238	239	240	241	243
3500	226	228	229	231	232	234	235	236	237	238	239	240	242
3750	226	228	229	230	232	233	235	236	237	238	239	240	242
4000	226	227	228	229	230	231	231	232	233	234	235	236	237
4250	224	225	226	227	228	229	229	230	230	231	231	232	233
4500	223	224	224	225	226	226	227	227	227	228	228	229	229
4750	221	222	222	223	223	224	224	224	225	225	225	225	225
5000	219	220	220	221	221	221	222	222	222	222	222	222	222
5250	217	217	218	218	219	219	219	219	219	219	219	219	219
5500	215	215	216	216	216	216	216	216	216	216	216	216	216
5750	213	213	213	214	214	214	214	214	214	214	214	213	213
6000	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211	211

画面中央の分析 とラベルの付いたタブをクリックします。この表には、算出されたさまざまなローンチアングルとバックspinコンディションを表示します。黄色のボックスには、最初のローンチコンディションで達した距離を表示します。

周囲のセルには、各種ローンチアングルの距離とspin速度の組み合わせを表示します。ボックスが黒の場合、距離の増減はありません。赤は距離の減少を示し、緑は距離の増加を示しています。

## ショット弾道



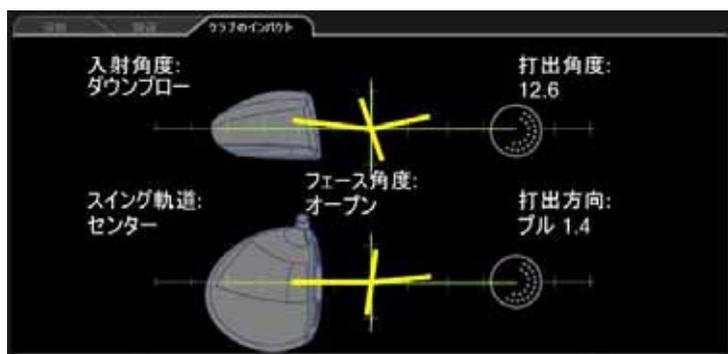
「弾道」とラベルの付いたタブをクリックします。上右にある対応するトグルを選択して、「サイドビュー」か「トップビュー」のいずれかを表示できます。

弾道観測：全てを表示」を選択して、セッション中の各ショットのトレーサーを表示するか、または「単独表示」を選択して、最新ショットのみを表示します。プロットの色は、「環境設定」のトレーサーの色で「標準 (すべて白)」または「クラブグループ化 (項目ごとに色を自動割り当て)」を設定できます。また、いつでも手動で、プロット列の測定データ履歴表のプロット色を割り当てることができます。

**\*最新打球または選択中の打球は、プロットされているショットの中で常に最も明るく表示されます。**

ローンチデータは、「分析」プロット用に修正できます。仮ショットのプロット (白で表示) を確認するには、「分析」分析ウィンドウの値を変更して、次に「分析」をクリックします。

## クラブのインパクト



「クラブのインパクト」とラベルの付いたタブをクリックします。このタブは、アタックの角度、スイング経路を表示し、インパクト時にフェースが開いているか、閉じているかを示します。

## VTeachソフトウェア

本セクションでは、VTeach モジュール専用ソフトウェア機能について説明します。

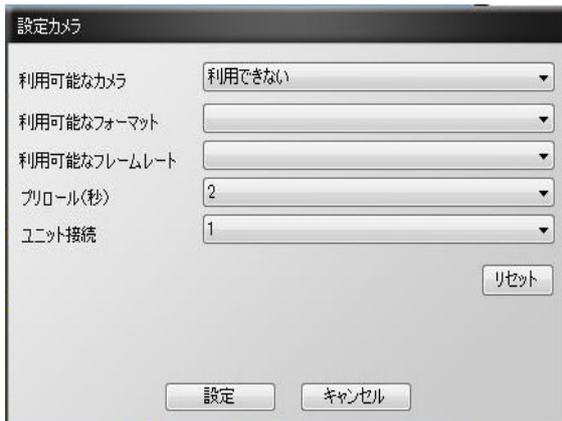


ソフトウェアの設定、ソフトウェアの機能、プレーヤ情報管理、キャリブレートに関する一般的な情報については、13～35 ページを参照してください。

### ビデオカメラの選択

ビデオカメラをご利用になりたい場合は、VTeach ソフトウェアのカメラの選択とセットアップの各ステップに従ってください。

1. ビデオカメラとコンピュータの電源をオンにします。
2. カメラをコンピュータに接続します。
3. ご使用のコンピュータのデスクトップにある VTeach のアイコンをダブルクリックして、VTeach ソフトウェアを起動します。



4. 「設定」から「カメラ選択」、ウィンドウが表示されたら、カメラのドロップダウンをクリックして、カメラを選択します。ご使用のカメラで可能であれば、フォーマットの変更 (720x480 以内) とフレーム率の調整ができます。また、プリロール (インパクト前の連続ビデオ画像) と、ポストロール (インパクト後の連続ビデオ画像) を変更するオプションも使用できます。\*ビデオカメラをご使用にならない場合は、中止 (Cancel) をクリックします。

5. 「設定」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、ソフトウェアの使用を開始します。

\*ビデオカメラが接続されると、VTeach ソフトウェアの上左隅のカメラアイコンが緑色に光ります。カメラが接続されていない場合は、黒色です。

## ビデオ撮影

**ライブビデオ:** ライブビューを見て、カメラのセットアップとポジショニングに役立てるには、ビデオウィンドウ上部の「ライブビデオ」をクリックします。

**ビデオ撮影:** ビデオでは一連のショットにより撮影されます。1ショットが連続しない場合は、「分析終了 (Analysis Terminated)」と画像ウィンドウに表示され、ビデオは撮影されません。

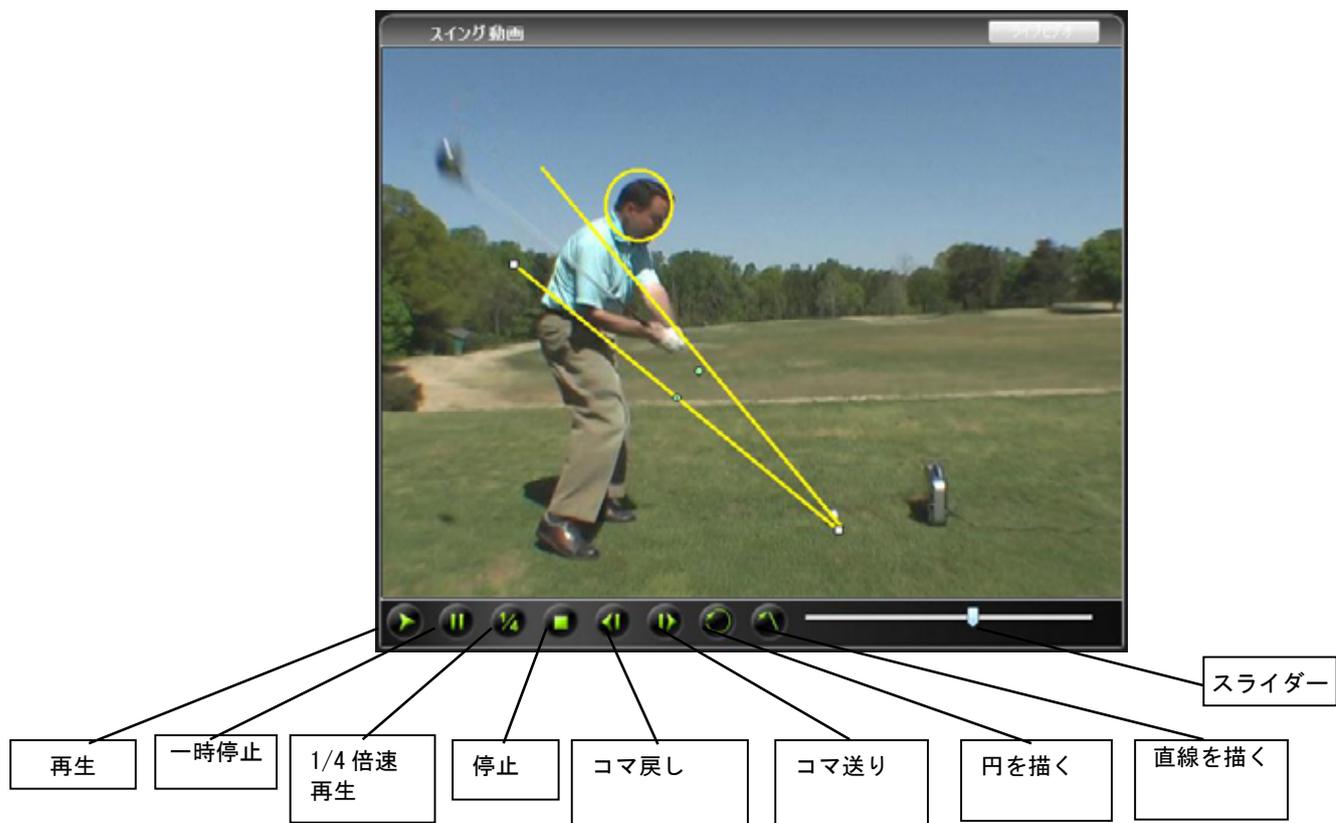
## ビデオのみ

連続ショットなしでビデオを撮影するには、「設定」から「初期設定項目」をクリックします。分析終了を許可の横のボックスのチェックを外します。ショット履歴表にショットを表示して、撮影したビデオから選択できます。ただし、ショットデータは収録されません。ビデオカメラを作動させるには、以下の方法を使用します。

- 1) AccuVector Pro ユニットを使用して、ビデオカメラを作動させます。ショットデータは記録されません。そのため、インパクト音でマイクが作動する限り、正しい打球の位置にいる必要はありません。

プレーヤがボールを打つ音でカメラを作動させる様にするには、キーボードの Alt+T を押します。スイング全体を確実に撮影するには、「プレロール (PreRoll)」、「ポストロール (PostRoll)」をバッファーとしてそれぞれ 3 秒に設定することをお勧めします。

## スイングビデオ画像



## スイングビデオナビゲーション

「再生/一時停止」、「停止」、「1/4 倍速再生」、「コマ送り/コマ戻し」を行うには、ビデオナビゲーションボタンを使います。特定の場所でビデオを先送り、巻き戻し、一時停止させたりするには、スライドビデオウィンドウ下部のスライダーをクリックしてドラッグします。

## 画面上の注釈

描画ツールを使用してスイングビデオに注釈を付けるには、注釈を付けたい場面でビデオを一時停止します。



直線を描くには、**ラインツール**をクリックして、次にビデオ画像上でポインターをクリック&ドラッグします。



円を描くには、**ラインツール**をクリックして、次にビデオ画像上でポインターをクリック&ドラッグします。

\*描いた線や円を修正、削除するには、その線や円の上で右クリックします。

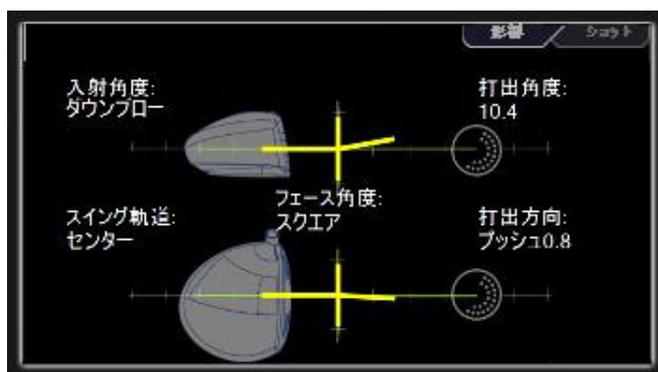
## 測定データ履歴

アイテム	ショット	プロット	パワーマ ンス	ボールス ピード	ヘッドス ピード	打出角
Driver 1			74.67	141	97	
Driver 1	1	白色	68	145	99	
Driver 1	2	白色	78	139	97	
Driver 1	3	白色	78	140	96	
Driver 2			84.00	141	98	1
Driver 2	1	ライム	82	140	97	
Driver 2	2	ライム	86	143	98	1

「測定データ履歴」表で、セッションのショットを表示・選択できます。スイングビデオ付きショットは、ビデオの列が「有 (Yes)」となっています。

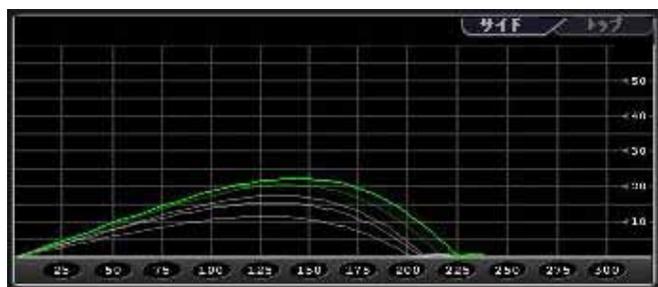
\*黄色い矢印をクリックすると、この表をショットプロファイル上に展開できます。

## クラブのインパクト



「クラブのインパクト」ウィンドウでは、クラブの入射角度と、スイング軌道を表示し、インパクト時にフェースが開いているか、閉じているかを示します。

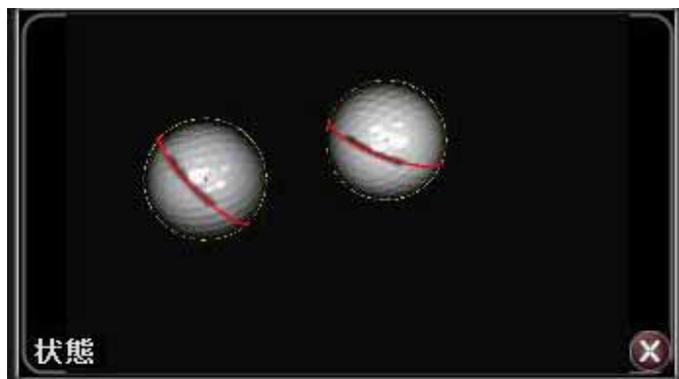
## 弾道



弾道のトップビューやサイドビューを、測定済みボールローンチ情報と AccuSport 社の業界最高の弾道モデルに基づいて表示します。

\*ショット弾道の詳細な表示については、41 ページを参照してください。

## 画像ウィンドウ



画像ウィンドウは、ソフトウェアの下右隅に位置しており、トップカメラとボトムカメラで撮影したボールの合成画像を表示します。AccuVector Pro Launch Systemでは、スピンを測定するため、ゴルフボールに黒い線を付ける必要があります。ソフトウェアでは、この黒い線を赤色で表示し、ショットが正しく記録されたか検証します。

\*ソフトウェアが黒い線を誤って読み込んだ場合、正しいマークの両端を1回クリックすると、ボールのマークを付け直せます。ショット録画に関するトラブルシューティングに役立つよう、エラーメッセージもこのウィンドウに表示されます。最終ショットを削除したい場合は、下右隅の  「ショットを削除」ボタンをクリックします。

## VRANGEソフトウェア

本セクションでは、VRange ソフトウェアモジュールだけのソフトウェア機能について説明します。VRange ソフトウェアには固有のシリアル番号が付いており、評価期間を超えてプログラムをご利用になるにはライセンスキーが必要です。VRange は、VSeries ソフトウェアの別個のアドオンモジュールです。VRange は、105 ヤード、155 ヤード、225 ヤード、325 ヤードという 4 種類のレンジ/ホールビューで表示可能です。

ソフトウェアの設定、ソフトウェアの機能、プレーヤ情報管理、キャリブレーションに関する一般的な情報については、13～35 ページを参照してください。



## 拡張可能ウィンドウ

拡張ウィンドウ タブ: 緑色矢印をクリックして、「測定データ履歴」、「イメージビュー」、「分析」、「トップビュー」、「サイドビュー」の各ウィンドウを表示します。



## ビューメニューオプション (VRange のみ)



「弾道観測」を選択して、「距離」、「アスペクト」、「効果」、「トレース線」、「弾道曲線」の環境設定に関するレンジオプションを表示します。

- 距離:** VRange では、105 ヤード、155 ヤード、225 ヤード、325 ヤードという 4 種類の距離のビューを利用できます。
- アスペクト:** 現在ご利用いただけるオプションは、センター アスペクトのみです。
- 効果:** レンジは、日中ビューまたは夕暮れビューで表示できます。
- トレース線:** ショットは、細線または太線で表示できます。
- 弾道曲線:** 「全てを表示」を選択して、セッション中の各ショットのトレーサーを表示するか、または「単独表示」を選択して、最新ショットのみを表示します。プロットの色は、「環境設定」のトレーサーの色で「標準 (すべて白)」または「クラブグループ化 (項目ごとに色を自動割り当て)」を設定できます。また、いつでも手動で、測定データ履歴表のプロットの色を割り当てることができます。

## 測定データ履歴



アイテム	ショット	プロット	バナーマ ンス	ボールス ピード	ヘッドス ピード	打点
[-] クラブ名			84.00	148	103	
クラブ名	1	白色	84	147	102	
クラブ名	2	グリーン	89	147	103	
クラブ名	3	白色	79	148	105	

上左の緑色のタブを選択して、測定データ履歴表にアクセスします。

測定データ履歴では、データは、各項目の黄色の平均値行にグループ分けされ、まとめられています。各項目の平均値の行のみを表示するには、項目欄の+/- ボックスをクリックしてデータを折りたたみます。

弾道ビューまたは距離ビューのプロットングでは、個人のショットまたは項目の平均値を選択できます。項目をプロットするには、測定データ履歴のプロット列の特定ショットや平均値のボックスをクリックし、当該項目をプロットングするための色を選択します。トレーサーを、メインレンジビュー、トップビューとサイドビューで選択したプロット色に変更します。

測定データ履歴表のショットを削除するには、削除したい行の任意の場所を右クリックし、**ショットを削除 (delete shot)** をクリックします。



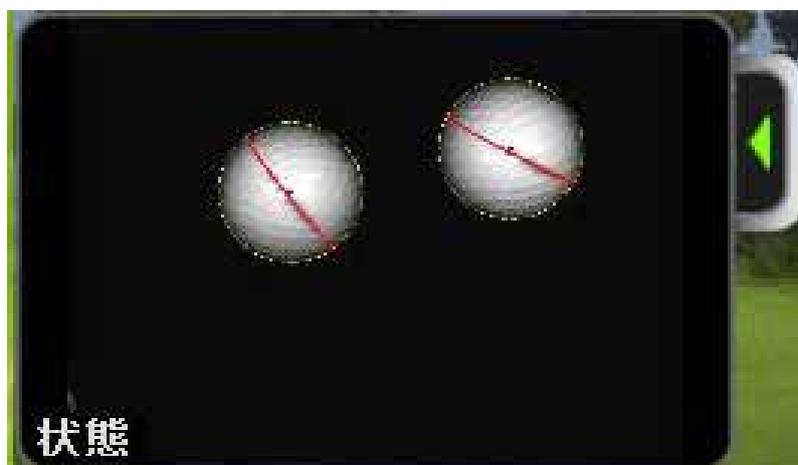
**弾道プロットの色をリセットする:** 「リセットプロット」をクリックすることで既定値の白色に戻ります。

**平均のみ:** このボックスにチェックを入れることで、各項目の平均値のみを表示します。



第2展開矢印をクリックして、「測定データ履歴」ウィンドウを展開し、全列を表示させます。展開されたビューでは矢印が左に向いています。この矢印をもう一度クリックすると、ウィンドウがコンパクトビューに戻って、レンジビューが見やすくなります。

## 画像



画像ウィンドウを表示するには、左側中央の緑色矢印を選択します。

画像ウィンドウは、トップカメラとボトムカメラで撮影したボールの合成画像を表示します。本ソフトウェアは、ゴルフボールの黒い線を使って、スピンを測定します。また、この黒い線を赤色で

表示し、ショットが正しく記録されたか検証します。ソフトウェアが黒い線を誤って読み込んだ場合、黒い線の両端を1回クリックすると、ボールのマークを付け直せます。ショット録画に関するトラブルシューティングに役立つよう、エラーメッセージもこのウィンドウに表示されます。

## 分析



分析ウィンドウを表示するには、左側下部の緑色矢印を選択します。

この機能で、ショットを比較するためのさまざまな仮定値（もしも情報）を入力できます。仮定値は、ほかのショットとの修正、分析、比較が可能です。速度、スピン、打出角度、サイドスピン、サイドアングルといった仮定値を入力したら、「分析」をクリックして更新します。

\*セッション中でない場合は、必ず左利きまたは右利きを指定してください。

\*本ソフトウェアは、打球後に右利きか左利きかを自動検出します。打球なしで「分析」機能を利用する場合は、データとプロットを補正するために右利きまたは左利きを指定する必要があります。

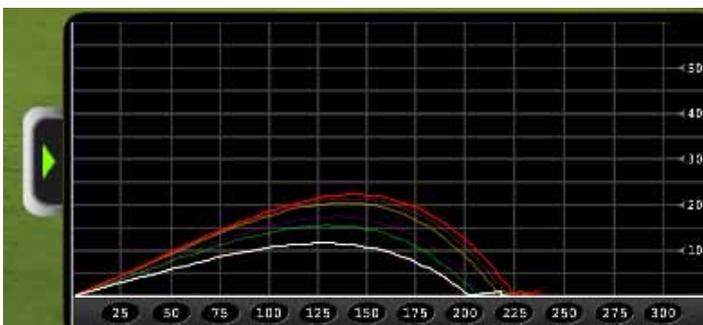
## トップビュー



ショットプロファイルのトップビューを見るには、上右部の緑色タブを選択します。

色は、「環境設定」の**トレーサーの色**で設定できます。また、ソフトウェア内のさまざまなショットプロファイルと比較するには、「測定データ履歴」のプロットセルをクリックして1色選択します。

## サイドビュー



ショットプロファイルのサイドビューを見るには、右下部の緑色タブを選択します。このタブは、打球弾道のトップビューやサイドビューを、測定済みボールローンチ情報と AccuSport 社の業界最高の弾道モデルに基づいて表示します。

\*ショットプロファイルの詳細な表示については、41 ページを参照してください。

## よくある質問

### 一般的な質問

#### AccuVector Pro に関する問合せの連絡先は？

- ・ 本機のご使用および不具合に関する問合せ窓口。  
株式会社 GPRO カスタマーサポート  
営業時間：月曜日～金曜日（土日祝日を除く）午前9時～午後4時  
TEL：06-6428-6777  
FAX：06-6428-0071  
E-mail：[golf@gpronet.com](mailto:golf@gpronet.com)
- ・ 製品の最新情報は、ウェブサイト [www.xswinggolf.com](http://www.xswinggolf.com) をご覧ください。

#### AccuVector Pro を自分のコンピュータに接続するには、どうしたらいいですか。

AccuVector Pro は、USB 2.0 経由でご使用のコンピュータに接続します。スイングビデオの撮影には、IEEE 1394 ポートが最低 1 つ必要です。

#### 自分のコンピュータに USB 2.0 ポートがあるかどうか、どうしたら分かりますか。

1. マイコンピュータを右クリックして、「管理」を選択します。  
*注：Windows XP ユーザーの方は、場合によって、スタートをクリックしてマイコンピュータにアクセスする必要があります。*
2. デバイスマネージャをクリックします。
3. USB(ユニバーサルシリアルコントローラ)の横にある (+) 記号をクリックします。
4. それぞれの USB ホストコントローラまたはルートハブの前に、メーカー名が記載されています。これらの分類は、以下のとおりです。
  - i. 「Enhanced Host Controller」や「USB 2.0 Root Hub」が記載されている場合、ご使用のコンピュータは USB 2.0 ポートを装備しています。
  - ii. 「USB 2.0」や「Enhanced」の語句が USB リファレンスに表示されていない場合、ご使用のコンピュータが装備しているのは USB 1 ポートまたは USB1.1 ポートです。

*注：USB(ユニバーサルシリアルコントローラ)が記載されていない場合、USB コントローラに問題があるか、または USB コントローラがご使用のコンピュータの BIOS で無効になっています。ドライバの更新について、または USB コントローラの修理や有効化の方法については、コンピュータまたはカードのメーカーにお問い合わせください。*

### **AccuVector Pro は、どのように作動するのですか。**

AccuVector Pro は、クラブがゴルフボールを打つ音で始動します。カメラは、打球画像を 2 枚撮影し、コンピュータに転送します。高度な画像分析ソフトウェアが、2 枚の画像のサイズ、回転、垂直パス、距離を判断します。本ソフトウェアは、この情報を利用してボール速度、打出角度、バックスピン、サイドスピン、プッシュ/プルを正確に測定するほか、クラブヘッドの速度と降下角を算出します。

### **AccuVector Pro でアイアンを使えますか。**

はい、ご使用いただけます。ドライバーのほか、アイアンもほぼ調整なしでご使用いただけます。AccuVector Pro は、ヒッティングマットと同じ高さに配置する必要があることにご留意ください。また、アイアン撮影の場合には、ソフトウェアの「遅延 (Delay) 設定を中」に変更することをお勧めします。

### **AccuVector Pro は、左利きプレーヤに使えますか。**

はい、ご使用いただけます。\*本ソフトウェアは、右利きか左利きかを自動検出します。ユニットを反対側に置き直す必要がありますが、ソフトウェアの調整は不要です。

### **AccuVector Pro は、Apple Mac で作動しますか。**

いいえ、作動しません。AccuVector Pro Launch System は、Windows XP Home、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows 7 オペレーティングシステムを実行するコンピュータ (PC) 上でのみ作動します。

### **クラブの速度の精度は、どの程度ですか。**

AccuVector Pro のクラブ速度の誤差は 2mph (0.89m/s) 以内です。これは、ボール速度、打出角度、バックスピン、サイドスピン、プッシュ/プルから算出されているもので、それらすべてはパラメータを測定されています。

### **最適なローンチアングルとスピン率の表はありますか。**

ゴルファーのスイングは個人により異なるため、表を印刷するには変数が多すぎます。ただし、個々ゴルファーの打球弾道の変化がもたらす影響を判断するため、VFit 分析画面の「分析」機能を使って、打出角度やスピン率などのさまざまなショット情報を入力できます。

### **AccuVector Pro で、緑色の電源ランプが点滅しているのはなぜですか。**

AccuVector Pro の電源が入ると、AccuVector Pro の側面の緑色 LED 電源ランプが光ります。この電源ランプは、内部バッテリーの充電が不足している場合に点滅します。バッテリー残量が少なく、充電が必要な場合、AccuVector Pro がピープ音を鳴らします。

## **AccuVector Pro のご利用**

### **ボールプレースメントは、どの程度重要ですか。**

ボールプレースメントは、非常に重要です。ボールが正しいヒッティングエリアに置かれていない場合、またはローンチモニターから 14 インチ+/-1 インチ (約 35.5 cm +/- 2.54 cm) という規定の場所に置かれていない場合、ボール撮影やローンチデータに影響があります。セットアップテンプレートが、セットアップとヒッティングのためにボールを置く場所を示します。

### **バッテリーはどのように充電するのですか。**

充電するには、電源アダプタを AccuVector Pro に差し込みます。AccuVector Pro の電源が切りになっていることを確認して、ユニットを一晩または最低 6 時間充電できるようにしてください。

### **環境設定は、打球弾道に大きく影響しますか。**

高度や天候に関する環境設定は、打球弾道に影響を及ぼします。高度が高い場所では、海水位の場所に比べて、ボールが高く遠く飛びます。したがって、環境設定をコロラド州向けに設定した AccuVector Pro をフロリダ州に持っていく場合は、環境設定の変更が必要です。変更しないと、AccuVector Pro が実際以上の飛距離と高度を示してしまいます。読み取り精度を最良にするために、所在地の状況に従って環境設定を設定してください。

ボールが風に向かって真っ直ぐ飛ぶ場合は、風の向きを 0 度に設定します。ボールが風下に飛ぶ場合は、180 度に設定します。風が右から吹く場合は 90 度、左から吹く場合は 270 度にします。

### **使用するゴルフボールの種類は重要ですか。**

直線タイプのロゴや、お客様がボールに描いたラインをソフトウェアがはっきり読み取れるように、できるだけマーキングの少ない、白いボールのご使用をお勧めします。ボールには必ず正しいマーキングをしてください。(19 ページ) レンジボールや、弾道が制限されているボールは、弾道測定値に影響を及ぼします。

## 「アドバンスドモード」のマーク、モノ、プレーン、エッジ、ボール輪郭のチェックボックスは、何ですか。

「アドバンスドモード」は経験のあるユーザーのみを対象にしています。お客様が経験のあるユーザーの場合は、この説明を参考にしてください。

- ・ **マーク** :ゴルフボールに付けられた目立つ印として、ソフトウェアが認識するものことです。使用されているロゴや黒い線は1つのみであることが理想です。あるいは、少なくとも青色で強調された目立つマークでなくてはなりません。
- ・ **モノ** :明るさの設定を確認できます。モノ (Mono) ボタンをチェックすると、ゴルフボールの代わりに白い円がボールの輪郭を示します。輪郭が表示されない場合は、AccuVector Pro を再校正して、ティーの位置を 14 インチ (約 35.5 cm) 離してください。
- ・ **プレーン** :ゴルフボール周囲の赤い単線を表示します。黒い線やロゴを使用する場合は、赤い線がそこに重なります。これにより、ソフトウェアがゴルフボールのマークを正確に読み取っていることを確認します。
- ・ **エッジ** :ゴルフボールの中心に対して、各エッジポイントをマップします。
- ・ **ボール輪郭** :ゴルフボールの中心点に対する実際の外周をマップします。

## トラブルシューティング

### AccuVector Pro ドライバーソフトは、どのように更新すればいいのですか。

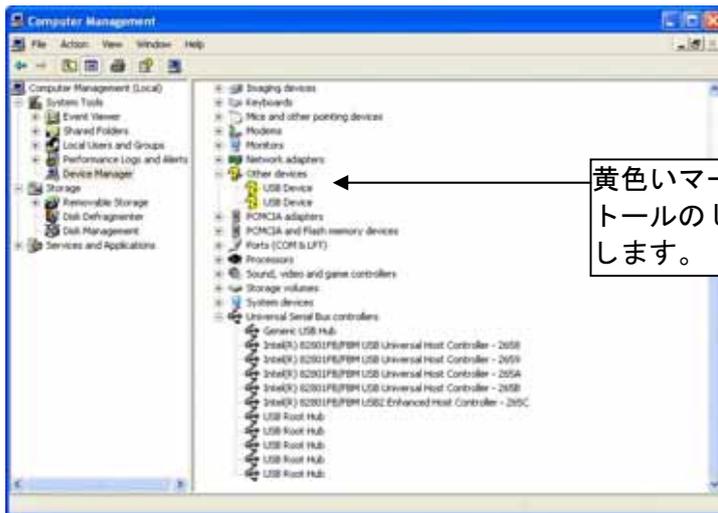
AccuVector Pro を初めて作動させても、「ハードウェア更新ウィザード」が表示されません。

これらのドライバのインストールに関する問題については、次の手順をご利用ください。

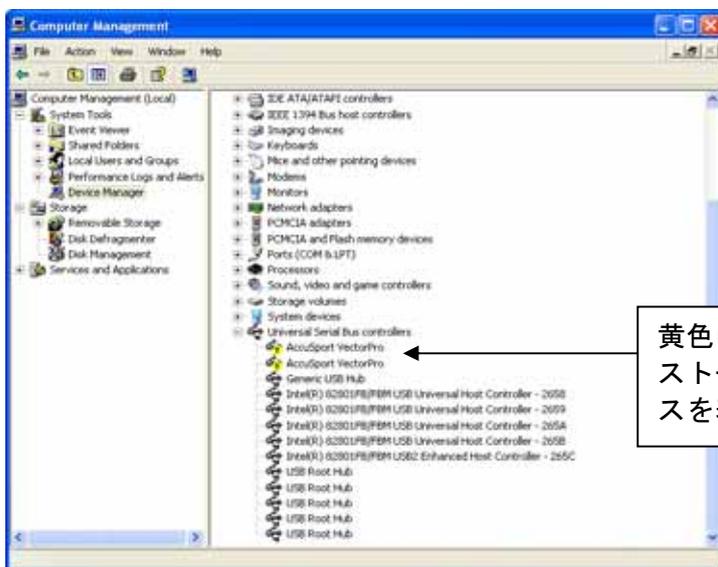
#### ドライバーソフトの設定問題解決手順

1. Windows のスタートをクリックします。
2. 「マイコンピュータ」を右クリックします。
3. 「管理」をクリックします。
4. 「デバイスマネージャ」をクリックします。

右ウィンドウパネルに、現在インストールされているハードウェアまたはご使用のコンピュータに接続されているハードウェアが表示されます。このウィンドウは、以下の1つに類似しています。



黄色いマークは、未インストールの USB デバイスを表します。



黄色いマークは、未インストールの USB デバイスを表します

黄色の「？」や「！」マークは、Windows XP の場合は 14 ページ、Windows Vista と Windows 7 の場合は 16 ページの手順を使って、これらのドライバをインストールする必要があることを表しています。

**ボールのロゴや線が画像に写っていません。**

1. 「設定」、「キャリプレート」を選択して、レンズを再校正してください。
2. ボールをティーアップする際、ロゴや線が垂直に AccuVector Pro の右端に面していることを確認してください。

**ショット打っても、ソフトウェアがそれ以上撮影しない。**

ご使用のコンピュータのプロセッサが高パフォーマンスで実行されていない可能性があります。または、コンピュータがスリープモードに入ろうとしていた可能

性があります。ご使用のコンピュータが高パフォーマンスで実行されていることを。次のように確認してください。

1. Windows のスタートボタンをクリックします。
2. 「コントロールパネル」を右クリックします。
3. 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
4. 「電源オプション」をクリックします。(Windows のクラシック表示を使用している場合は、「電源オプション」アイコンに直行してクリックします。)
5. 電源スキームのドロップダウンボックスから、「常時オン」、「適用」、「OK」を選択します。次に、コンピュータを再起動します。
6. これで問題が解決しない場合は、カスタマーサポートへ電話でご連絡ください。

#### **画面にボールの一部または全部が映っていない。**

1. AccuVector Pro がマットと同じ高さであることを確認してください。
2. ボール画像が端で途切れる場合は、セットアップテンプレートでボールを正しくティーアップしているか、AccuVector Pro から 14 インチ (約 35.5 cm) 離れているかを確認してください。
3. メニューバーの「設定」をクリックして、「アドバンスドモード」を選択します。下左隅の「撮影タイミングの設定」ボックスで「感度」にチェックが入っていることを確認してください。
4. メニューバーの「設定」をクリックして、「アドバンスドモード」を選択します。ドライバーが「高速」、アイアンが「中速」または「低速」であることを確認してください。

#### **ドライバーのローンチデータは得られるのに、アイアンのデータが得られません。**

1. AccuVector Pro がマットと同じ高さに置かれていること、また、ボールをカメラより低い位置で打っていないことを確認してください。
2. メニューバーの「設定」をクリックして、「アドバンスドモード」を選択します。左下隅の「撮影タイミングの設定」ボックスで「感度」にチェックが入っていることを確認してください。
3. ボール画像が画面の端で途切れる場合は、セットアップテンプレートでボールを正しくティーアップしているかを確認してください。
4. アイアンのスイング速度が 80mph (約 35.8m/s) 未満の場合は、「アドバンスドモード」の「遅延」設定を「中速」に変更してください。

5. ボールを、ユニットから 14 インチ (35.5 cm) 離れたまま、AccuVector Pro のレンズのセンターライン延長線上で少し近づけてティアーアップしてください。

#### **読み取りが異常または不正確です。**

照明条件、キャリブレーション失敗、不正なシステム環境設定、低バッテリーが原因の可能性あります。

1. メニューバーの「設定」、「キャリブレーション」を選択して、レンズを再設定します。
2. ボールが正しくマーキングされていることを確認してください。また、ソフトウェアが、ボールの別の点や汚れではなく、正しいマークを読み取っていることを確認してください。
3. それでも問題が残る場合は、ソフトウェアのメニューバーの「設定/初期設定項目」をクリックして、風速、高度、気温の設定が正しいか確認してください。
4. バッテリーが低下している場合は、充電するか、代替電源を使用してください。

#### **ボール画像画面が真っ白です。**

「設定」→「アドバンスドモード」に進んで、「モノ」ボックスにチェックが入っていないことを確認してください。

#### **ボールのストライプが見えません。**

ボールを AccuVector Pro の前に置く際に、黒い線が AccuVector Pro に向かって垂直になっていることを確認してください。

#### **ゴルフボールがぼやけています。**

メニューバーの「設定」、「キャリブレーション」を選択して、レンズを再設定します。

## **エラーメッセージ**

### **撮像不良**

このメッセージは、ボールストライクが正確に撮影されなかった場合に表示されます。ボール画像が画面上部で途切れる場合は、AccuVector Pro がヒッティング面と同じ高さに置かれていることを確かめてください。または AccuVector Pro を少し後ろに傾けてください。ボール画像が端で途切れる場合は、セットアップテ

ンプレートでボールを正しくティーアップしているか、AccuVector Pro から 14 インチ (約 35.5 cm) 離れているかを確認して、「アドバンスモード」の「遅延」設定を修正してください。通常は、遅延「高速」はドライバに適しています。また、「中速」「低速」はアイアンのスイングに使用します。

#### **ボールが近すぎます (Ball too close)**

ボールが AccuVector Pro から 12 インチ (約 30.5 cm) 以内になっています。ボールが AccuVector Pro から 14 インチ (約 35.5 cm) 離してティーアップされていることを確認して、もう 1 打打ってください。

#### **ボールが遠すぎます (Ball too far)**

ボールが AccuVector Pro から 18 インチ (約 45.7 cm) 以上離れています。ボールが AccuVector Pro から 14 インチ (35.5 cm) 離してティーアップされていることを確認して、もう 1 打打ってください。

#### **ボール速度が測定範囲外です (Check Ball Speed)**

ボール速度が 21mph (約 9.4m/s) 未満か 235mph (約 105m/s) 以上のどちらかです。このメッセージは、不正確なボールのマーキングが原因で表示されることもあります。

#### **打出角度を確かめてください (Check Launch Angle)**

AccuVector Pro環境設定が、右利きプレーヤなのに左利きに誤設定されていないか、左利きプレーヤなのに右利きに誤設定されていないかを確認してください。このメッセージは、ボールをトップすると表示されることがあります。

#### **打出方向を確かめてください (Check Side Angle)**

サイドアングルが (+/- 12度) を超えています。

#### **ボールの輪郭がぼやけています (Low Ball Edge Quality)**

ボールのティープレースメントが正しくありません。同梱のテンプレートを使用して、AccuVector Pro から所要の 14 インチ (約 35.5 cm) 先で、適切なヒッティングゾーン内から行われていることを確認してください。距離が正しい場合は、メニューバーから「設定」、「キャリプレート」を選択して、レンズを再設定してください。

#### **低いプレーンです (Low Planes)**

ボールのマーキングが正しくない可能性があります。

#### **マークが小さすぎます (Marks too Small)**

AccuVector Pro は、ボールのマークを読み取ります。まず、ボールをティーアップする際に、ロゴや線が垂直に AccuVector Pro の右端に面していることを確認してください。

ボールのマーキングが正しくなかったり、汚れていたりする場合、または、ロゴや線以外の大きなマークがボールに付いている場合は、マークを付け直すか、またはボールを取り替えてください。

### **ボールが見つかりません (No Balls Found)**

このメッセージは、画像画面にボールの一部または全部が映っていない場合に表示されます。セットアップテンプレートを使って、ボールが AccuVector Pro から所要の 14 インチ (約 35.5 cm) の位置で打たれたことを確認してください。

セットアップテンプレートを使って、ボールが適切なヒッティングエリアの中にティーアップされたことを確認してください。右利きプレーヤの場合、これは通常、AccuVector Pro の右端の内側です。左利きプレーヤの場合、これは通常、AccuVector Pro の左端の内側です。

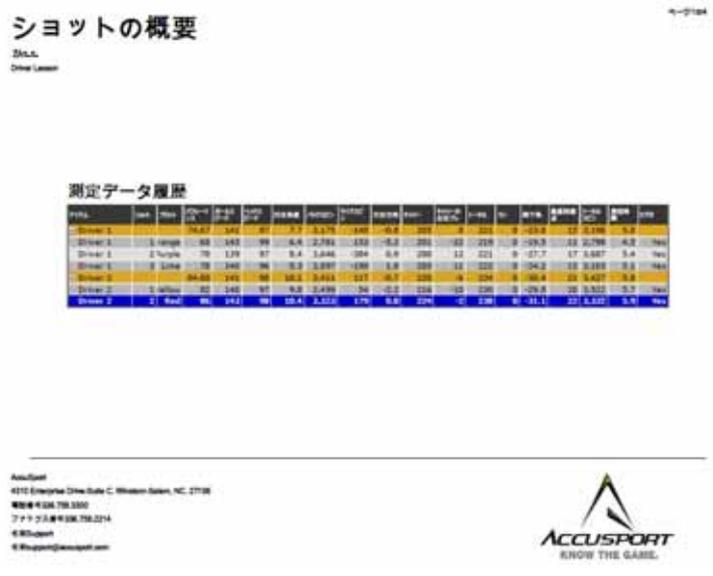
低速スイングの打者は、メニューバーから「設定」、「アドバンスドモード」を選択して、遅延の設定を「中速」または「低速」に変更してください。通常は、「高速」をドライバ、「中速」「低速」をアイアンのスイングに使用することをお勧めします。

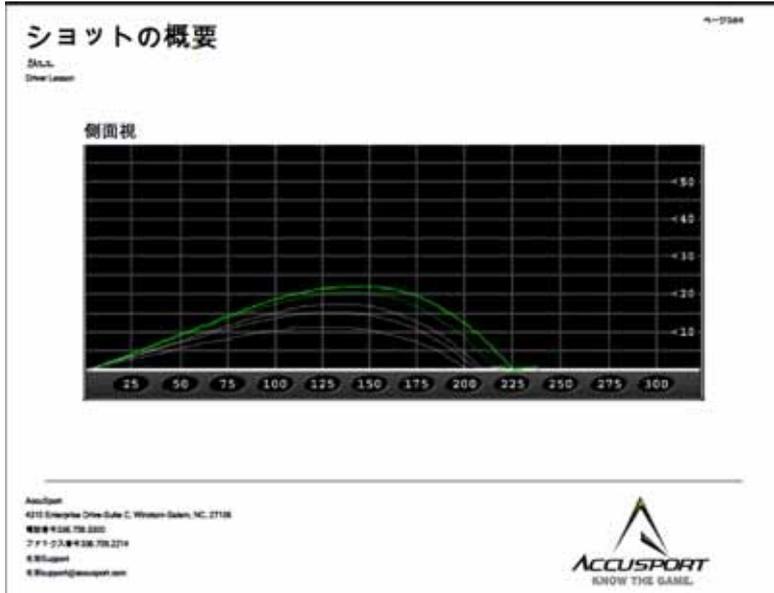
### **プレーンがありません (No Planes)**

ボールが正しくマーキングされていない可能性があります。または、ボールが、マークを AccuVector Pro の方に向けずにティーアップされている可能性があります。

# 付録

## 付録 A: フルレポート





**3 ページ:** サイドビューショットプロファイルを表示します。個別ショットはすべて、ショット履歴表で割り当てられたプロット色に合わせてプロットされます。

*注:* レポート生成前に、ショット履歴表でユーザーが色を手動で選択しない限り、平均値はプロットされません。



**4 ページ:** レポート生成プロセスの始めに入力されたメモを表示します。

付録 B: 平均値レポート

Shot Summary Page 1 of 4

Demo  
Driver Lesson

Shot	Club	Dist	Wind	Temp	Club Speed	Club Head	Launch	Hi	Spin	Side Spin	Lo	Carry	Offset	Total	Roll	Spin	Angle	Max	Temp	Lo	High	Time	Video	
Driver 1	Wood	164.07	140	67	7.7	5.175	13.44	12.8	305	0	305	0	32.8	18	32.86	0	32.8	18	32.86	0	0	0	0	0
Driver 2	Wood	88.00	140	68	10.2	5.432	12.7	10.7	200	0	200	0	16.4	11	16.47	0	16.4	11	16.47	0	0	0	0	0
Driver 3	Iron	79.07	128	68	10.2	6.712	14.6	12.1	188	0	188	0	15.1	9	15.17	0	15.1	9	15.17	0	0	0	0	0

Accusport  
4310 Enterprise Drive-Suite C, Winston-Salem, NC, 27106  
Phone: 336.759.3300  
Fax: 336.579.2214  
Contact: Support  
Email: support@accusport.com

1 ページ: 折りたたまれた平均値比較ビューに、ショット履歴 (Shot History) 表を表示します。各項目の平均値の行のみ表示されます。

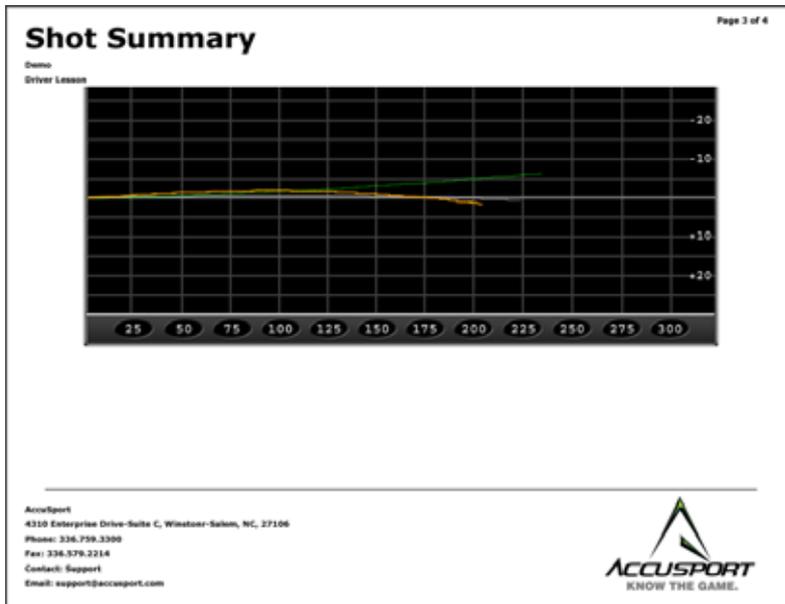
Shot Summary Page 2 of 4

Demo  
Driver Lesson

Accusport  
4310 Enterprise Drive-Suite C, Winston-Salem, NC, 27106  
Phone: 336.759.3300  
Fax: 336.579.2214  
Contact: Support  
Email: support@accusport.com

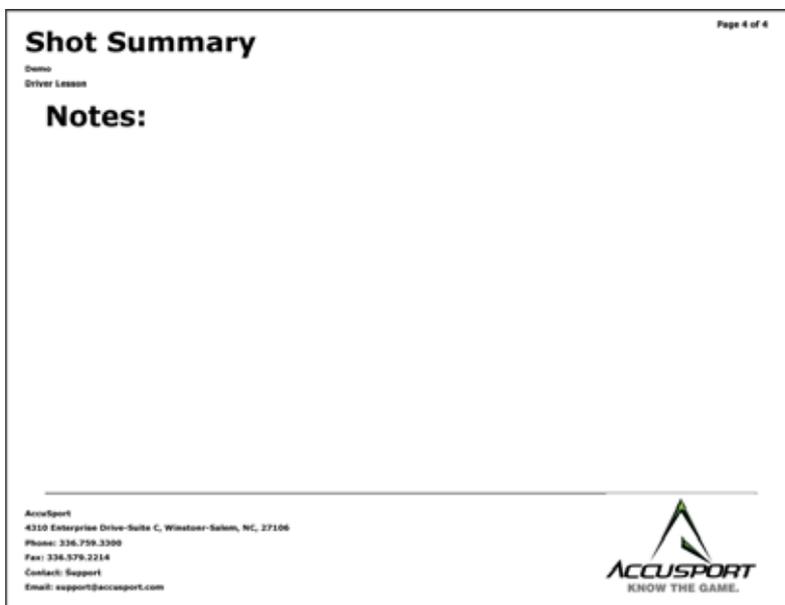
2 ページ: サイドビューショットプロファイルを表示します。項目平均値のみ、ショット履歴表で割り当てられたプロット色に合わせてプロットされます。

注: 平均値レポート生成時には、平均値に色が自動的に割り当てられます。



**3 ページ:** トップビューショットプロファイルを表示します。項目平均値のみ、ショット履歴表で割り当てられたプロット色に合わせてプロットされます。

*注: 平均値レポート生成時には、平均値に色が自動的に割り当てられます。*



**4 ページ:** レポート生成プロセスの始めに入力されたメモを表示します。